

住居喪失不安定就労者等の実態に関する

調 査 報 告 書

平成30年1月

東京都福祉保健局生活福祉部生活支援課

【目 次】

第1部 調査の概要		
第1章 調査目的	1
第2章 調査・集計方法	1
第2部 インターネットカフェ・漫画喫茶等の概数		
第1章 オールナイト利用者概数の推計		
第1節 調査と集計の方法	3
第2節 集計の結果	4
第2章 オールナイト利用者の属性		
第1節 調査と集計の方法	5
第2節 集計の結果	6
第3章 住居喪失不安定就労者等の推計等	17
第3部 生活・就業実態調査		
第1章 調査と集計の方法	20
第2章 集計の結果		
第1節 調査対象者の基本的属性	21
第2節 住居関係の状況	25
第3節 就業関係の状況	40
第4節 生活の状況	50
第5節 福祉や保険の状況	56

第1部 調査の概要

第1章 調査目的

東京都内において、インターネットカフェ・漫画喫茶等の昼夜滞在可能な店舗で寝泊りしながら不安定就労に従事する「住居喪失不安定就労者」等の実態を店舗や店舗利用者に対する調査を通じて明らかにする。

第2章 調査・集計方法

1. 概数調査

(1) 店舗アンケート

- ア. 調査対象 東京都の24時間営業のインターネットカフェ・漫画喫茶等全店舗502店舗の店長・店員等（有効回答数222店舗）
- イ. 調査手法 訪問面接及び電話調査
- ウ. 調査項目 ①当該店舗における平日（月曜日～木曜日）1日あたりの平均的なオールナイト利用者（注1）概数
②・①のうち週の半分以上利用する常連者概数
③・②のうち女性の概数
- エ. 調査期間 平成28年11月～平成29年1月

(2) オールナイト利用者アンケート

- ア. 調査対象 東京都の24時間営業のインターネットカフェ・漫画喫茶等の利用者（回収数946人）
- イ. 調査手法 2つの手法で行った。
1）店舗利用者に店員から配布・回収
2）店舗等にて専門調査員が聞き取りアンケートに記載
- ウ. 調査項目 ①性別、②年齢、③オールナイトの利用頻度、④オールナイト利用の理由、⑤インターネットカフェ・漫画喫茶等以外の寝泊りの場所、⑥路上（公園・河川敷・道路・駅舎等の施設）の利用頻度、⑦就業状況、⑧労働形態
- エ. 調査期間 平成28年12月～平成29年1月

（注1）「オールナイト利用者数」は、平日（月～木曜日）1日において、深夜から朝まで通して利用する者（最低5時間以上利用し、各店舗のオールナイト料金の対象となるような者）の数であり、単に深夜に利用して数時間滞在してすぐに出て行く者を除く。年間を通じた平均的な数。

(3) 集計方法

(1) 店舗アンケートで得られた「インターネットカフェ等のオールナイト利用者（以下原則として「オールナイト利用者」と表す。）の概数」に、(2) で得られた「オールナイト利用者に占める住居喪失不安定就労者等「(2) ウの④と⑧をクロス集計の割合」を乗ずることにより、「住居喪失不安定就労者」等の概数を推計した。

2. 生活・就業実態調査（インターネットカフェ等のオールナイト利用者アンケート）

1. 概数調査 (2) オールナイト利用者アンケートの中で、「住居喪失不安定就労者」等に該当するものは、同じ調査票でそのまま継続して回答できるように調査票を構成し、効率よく回収できるようにした。

また、1. 概数調査 (2) オールナイト利用者アンケートに加えて、追加で「インターネットカフェ等を利用する住居喪失不安定就労者等」を対象に専門調査員が聞き取り調査を実施し、有効回答数に加算した。

ア. 調査対象 東京都内のオールナイト利用者のうち、住居を失っている者等
(回収数 363 人)

イ. 調査手法 2つの手法で行った。

1) 店舗利用者に店員から配布・回収

2) 店舗等にて専門調査員が聞き取りアンケートに記載

ウ. 調査項目 ①住居喪失の期間・理由、②東京都内で生活するようになった期間、③住居確保上の問題点、④求職活動状況及び活動上の問題点、⑤求職活動及び住居確保に係る支援希望の有無
⑥収入・支出状況、その他計 22 項目

エ. 調査期間 平成 28 年 12 月～平成 29 年 1 月

3. 集計分析における留意点

本調査は、厚生労働省職業安定局が平成 19 年 8 月に公表した「住居喪失不安定就労者等の実態に関する調査報告書」と同様の方法により実施した。

但し、実施時期や規模、対象店舗等の与条件が異なるため、比較は行っていない。

第2部 インターネットカフェ・漫画喫茶等の概数

第1章 オールナイト利用者概数の推計

第1節 調査と集計の方法

1. 調査の方法

東京都のインターネットカフェ・漫画喫茶等の全店舗（502店・表1①）の店長・店員等に対して、「当該店舗における平日（月曜日～木曜日）1日あたりの平均的なオールナイト利用者概数」及び「そのうち週の半分以上利用する常連概数」を訪問及び電話調査によって調査したところ 222店舗（表1②）から有効回答を得た。（回答率44.2%）。有効票の立地の内訳（表1②）は、東京23区186店（83.8%）、市・郡部36店（16.2%）であった。

2. 集計の方法

「オールナイト利用者概数」及び「週の半分以上利用する常連者概数」の1店舗あたりの回答平均率を求めた。その平均率にもととの調査対象店舗数を乗ずることにより回答平均値（表1③・⑥）を算出した。店舗によっては、利用者数が極端に多かったり、常連者数が0だったりするので、上下の5%をカットした95%信頼区間も求め、割合のズレを確認したが、信頼区間内に納まっており、求めた値をそのまま採用した。

【表1 オールナイト利用者概数の推計値】

	調査対象 店舗数 ①	有効回答 店舗数 ②	オールナイト利用者概数(人)			常連の利用者数(人)		
			1店舗当たり 回答平均値 ③	95% 信頼区間 ④	推計値 ⑤ (=③×①)	1店舗当たり 回答平均値 ⑥	95% 信頼区間 ⑦	推計値 ⑧ (=⑥×①)
インターネットカフェ ・漫画喫茶	315	156	25.4	20.2～27.0	7,990	9.6	7.7～10.3	3,037
ネットルーム	18	3	32.3	25.0～43.5	582	16.7	10.0～22.5	300
ビデオルーム	98	24	16.0	13.9～16.5	1,572	7.6	5.1～9.6	743
カプセルホテル ・サウナ	71	39	73.1	67.9～74.9	5,190	13.7	12.5～14.1	975
合計	502	222			15,334			5,055

(注2)「ネットルーム」は、インターネット設備を備える完全個室型の店舗。エアコンやコインシャワー、コインランドリーなどを備えるものもある。「ビデオルーム」は、DVD鑑賞設備を備える完全個室型の店舗。エアコンやコインシャワー、コインランドリーなどを備え、男性専用としているものもある。

第2節 集計の結果

東京都の平日1日のオールナイト利用者概数は、約15,300人と推計される。うち常連と考えられる人は約5,100人と推計される。

第2章 オールナイト利用者の属性

第1節 調査と集計の方法

1. 調査の方法

東京都のインターネットカフェ・漫画喫茶等のオールナイト利用者に対して、インターネットカフェ・漫画喫茶等の利用状況に関して、店舗及び駅や公園等でアンケートを実施したところ、946人の調査サンプルが回収された。調査方法は、調査員が聞き取ったアンケートと配布・回収したアンケートがある。

2. 集計・分析の方法

調査結果の記述にあたり、問C「オールナイトの利用頻度」、問D「オールナイトの利用理由」、問H「労働形態」への回答状況に応じて、対象者を表2のように類型化した。

【表2 住居喪失不安定就労者等の類型化】

対象者の類型	調査における回答項目	
常連の利用者	①週5日以上	問C オールナイト利用頻度
	②週3～4日程度	
住居喪失者	⑧現在「住居」がなく、寝泊りするために利用	問D オールナイト利用理由
帰宅困難者	⑥住居に帰りたくない事情があるため(当分の間帰らない)	
	⑦現在「住居」を失うおそれがあり、寝泊りするために利用	
不安定就労者	②派遣労働者	問H 労働形態
	③契約社員	
	④パート・アルバイト	
正社員	①正社員	問G 就業状況
自営業	⑤自営業	
失業者	③ふだん仕事をしていない(仕事を探している)	
無業者	④ふだん仕事をしていない(仕事を探していない)	
学生	⑤学生(学生アルバイトを含む)	

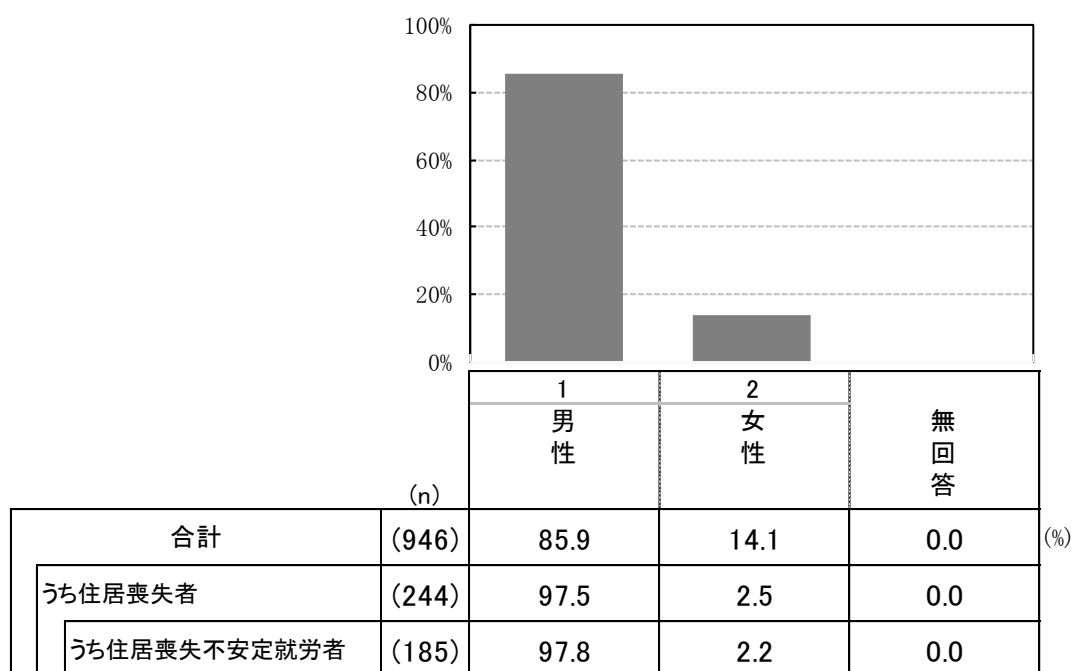
第2節 集計の結果

オールナイト利用者の集計結果は以下のとおりである、サンプルは、946人（ただし、問H「労働形態」の回答者は790人）である。表中の「NA」は未回答を意味する。

各項目のパーセントは四捨五入をしているので、単純に合計しても100%にならない場合がある。

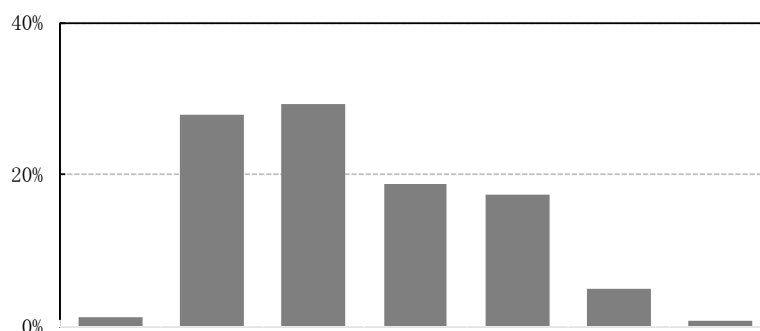
1. 性別（問A）

オールナイト利用者男性が、85.9%を占めている。



2. 年齢（問B）

オールナイト利用者は、30代が29.3%と一番多く、次いで20代が27.8%と続く。

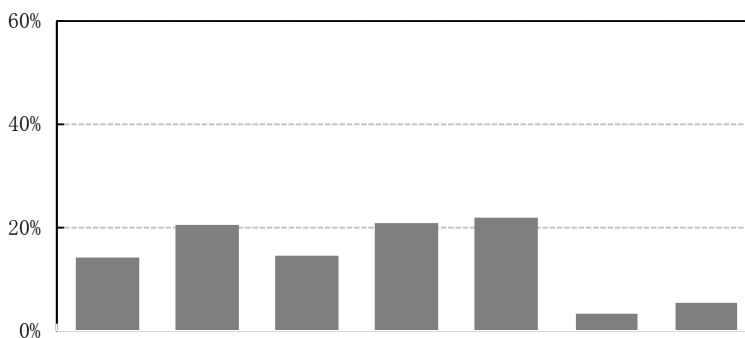


		(n)	1 1 9 歳 以下	2 2 0 歳	3 3 0 歳	4 4 0 歳	5 5 0 歳	6 6 0 歳 以上	無 回 答	(%)
合計	(946)	1.2	27.8	29.3	18.7	17.3	4.9	0.8		
うち住居喪失者	(244)	0.0	12.3	38.5	19.7	27.9	1.2	0.4		
うち住居喪失不安定就労者	(185)	0.0	13.5	38.9	17.8	28.1	1.6	0.0		

3. オールナイト利用の頻度（問C）

オールナイトの利用頻度をみると、「月に1日未満」が21.8%と一番多い。常連の利用者と定義される「週5日以上」（14.0%）と「週3~4日程度」（20.5%）は合計で34.5%を占める。

問C：インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルームなどをオールナイトで利用する頻度はどのくらいですか。

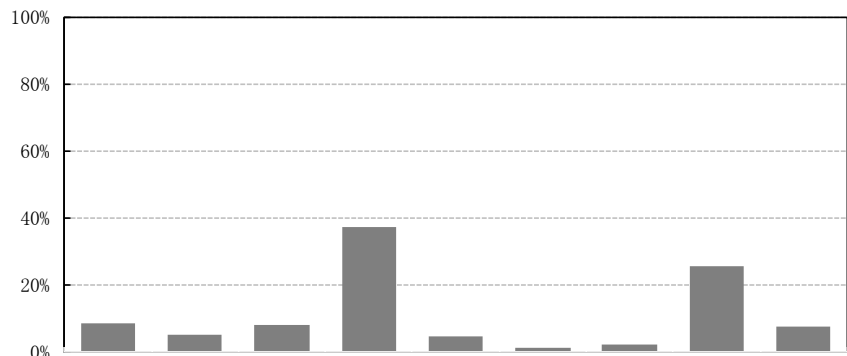


		(n)	1週に5日以上	2週に3~4日程度	3週に1~2日程度	4月に1~2日程度	5月に1日未満	6今回が初めて	無回答	(%)
	合計	(946)	14.0	20.5	14.3	20.9	21.8	3.3	5.3	
	うち住居喪失者	(244)	38.9	53.3	3.3	3.7	0.8	0.0	0.0	
	うち住居喪失不安定就労者	(185)	37.8	56.2	3.8	1.6	0.5	0.0	0.0	
性別	男性	(813)	14.8	22.9	14.9	20.0	20.0	2.2	5.2	
	女性	(133)	9.0	6.0	10.5	26.3	32.3	9.8	6.0	
労働形態別	正社員	(331)	4.2	11.8	17.5	27.8	25.7	4.5	8.5	
	不安定就労者	(390)	21.0	32.1	10.3	16.9	15.9	2.6	1.3	
	派遣労働者	(131)	25.2	42.7	9.2	4.6	16.8	1.5	0.0	
	契約社員	(68)	16.2	11.8	13.2	29.4	19.1	4.4	5.9	
	パート・アルバイト	(191)	19.9	31.9	9.9	20.9	14.1	2.6	0.5	
	自営業	(46)	21.7	23.9	10.9	15.2	21.7	0.0	6.5	

4. オールナイト利用の理由（問D）

オールナイト利用の理由をみると、「現在旅行（または出張）中であり、宿がわりに利用」が37.1%となった。同様に、「現在「住居」がなく、寝泊りするために利用」（＝住居喪失者）も25.8%であった。

問D：インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルームなどをオールナイトで利用する主な理由として、最も近いものを一つお選びください。

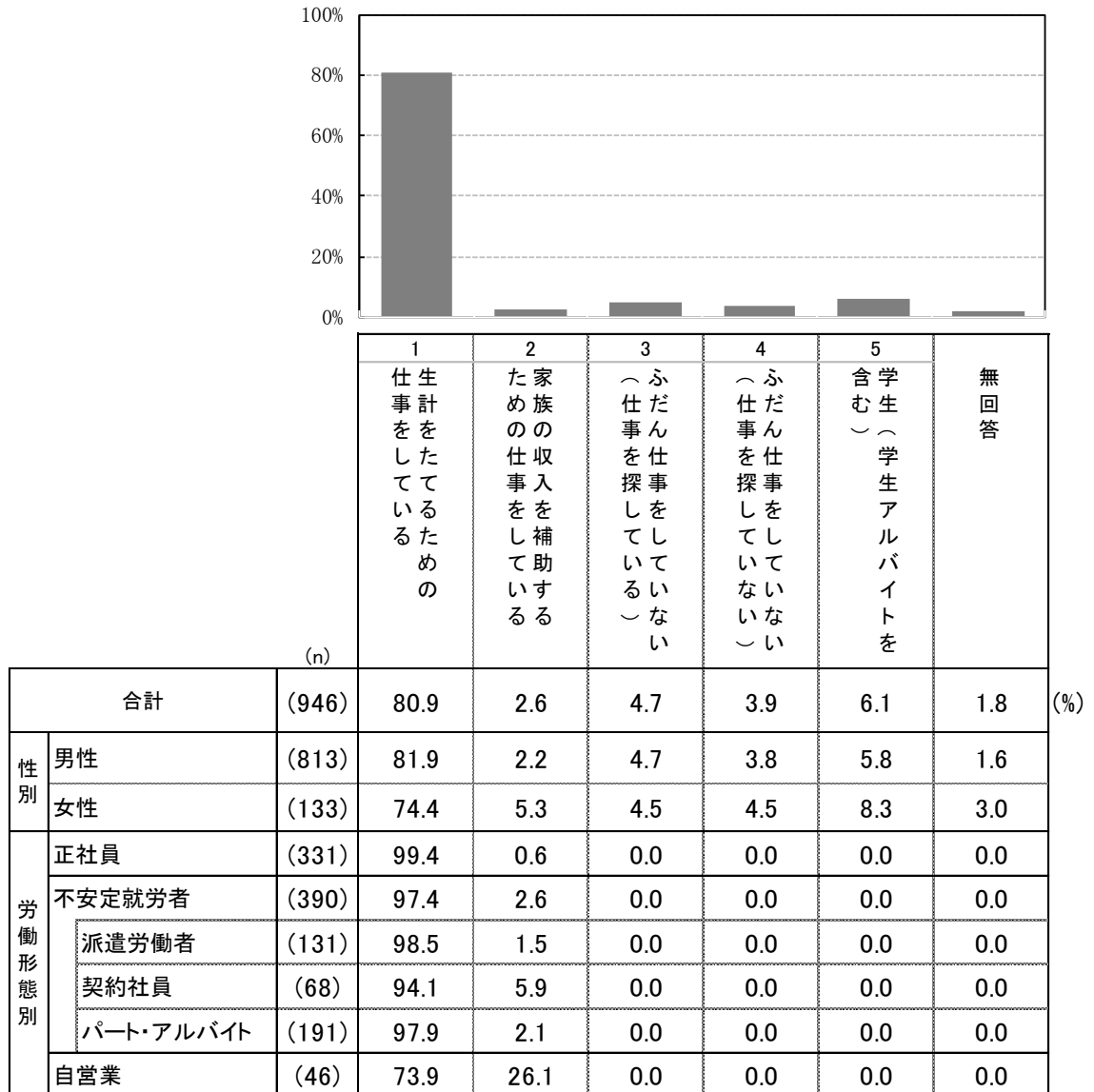


		(n)	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
合計		(946)	8.6	5.2	7.9	37.1	4.8	1.1	2.1	25.8	7.5
性別	男性	(813)	8.0	4.8	8.2	34.9	4.2	1.0	2.3	29.3	7.3
	女性	(133)	12.0	7.5	6.0	50.4	8.3	1.5	0.8	4.5	9.0
労働形態別	正社員	(331)	14.2	4.5	13.3	49.8	3.0	0.3	0.0	3.3	11.5
	不安定就労者	(390)	4.6	6.2	5.9	25.6	3.1	1.8	2.8	47.4	2.6
	派遣労働者	(131)	2.3	1.5	3.1	21.4	2.3	3.1	3.1	61.8	1.5
	契約社員	(68)	13.2	13.2	14.7	27.9	2.9	1.5	1.5	16.2	8.8
	パート・アルバイト	(191)	3.1	6.8	4.7	27.7	3.7	1.0	3.1	48.7	1.0
	自営業	(46)	8.7	6.5	4.3	39.1	4.3	2.2	0.0	26.1	8.7

5. オールナイト利用者の就業状況（問G）

オールナイト利用者の就業状況をみると、「生計をたてるための仕事をしている」が80.9%、「家族の収入を補助するための仕事をしている」が2.6%で、その合計となる83.5%が仕事をしている。学生（学生アルバイトを含む）は、6.1%だった。

問G：ふだん、お仕事をしていच्छいますか。次の中から一つお選びください。

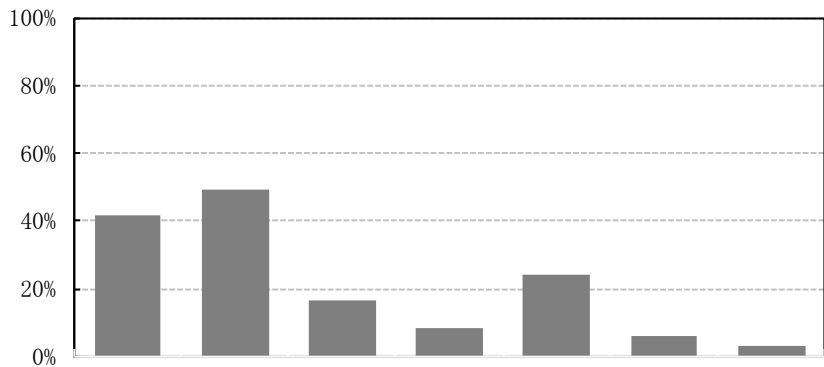


6. オールナイト利用者の労働形態（問H）

仕事をしているオールナイト利用者についてその労働形態をみると、「正社員」は、41.9%となった。「不安定就労者」（「派遣労働者」＋「契約社員」＋「パート・アルバイト」）が49.4%と過半数近くとなった。「パート・アルバイト」は24.2%だった。

問H：（問Gで仕事をしていると回答したもののみ）

現在のお仕事の形態は次のどちらにあてはまりますか。次の中から一つお選びください。

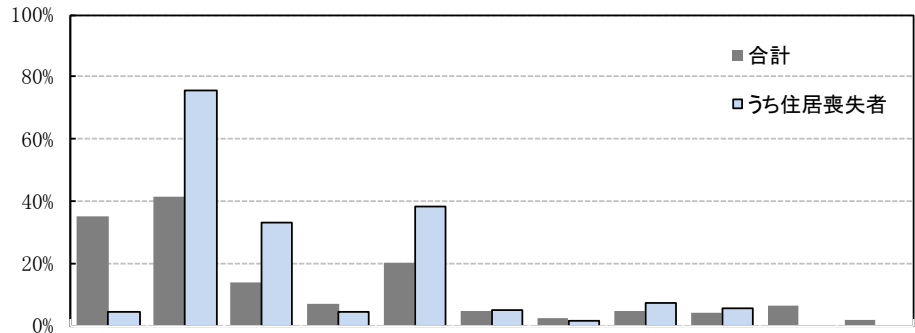


		(n)	1	2	3	4	5	無回答	(%)
			正社員	不安定就労者	派遣労働者	契約社員	パート・アルバイト	自営業	
仕事をしている者(合計)		(790)	41.9	49.4	16.6	8.6	24.2	5.8	2.9
性別	男性	(684)	41.8	48.8	16.8	8.3	23.7	6.1	3.2
	女性	(106)	42.5	52.8	15.1	10.4	27.4	3.8	0.9

7. オールナイト利用者の就業状況及び労働形態（問G・H）

オールナイト利用者の就業状況及び労働形態を合算すると、「正社員」は、全回答者中で35.0%、うち住居喪失者中で4.5%となった。

また、「不安定就労者」（「派遣労働者」＋「契約社員」＋「パート・アルバイト」）は、全回答者中で41.2%、うち住居喪失者中で75.8%となった。



問G	仕事をしている(問Gの回答1,2)							3	4	5	無回答	
	1	2	3	4	5	無回答						
問H	正社員	不安定就労者	派遣労働者	契約社員	パート・アルバイト	自営業	無回答	3 ふだん仕事を探していない	4 ふだん仕事を探していない	5 学生(学生アルバイトを含む)	無回答	
(n)												
合計	(946)	35.0	41.2	13.8	7.2	20.2	4.9	2.4	4.7	3.9	6.1	1.8
うち住居喪失者	(244)	4.5	75.8	33.2	4.5	38.1	4.9	1.6	7.4	5.7	0.0	0.0

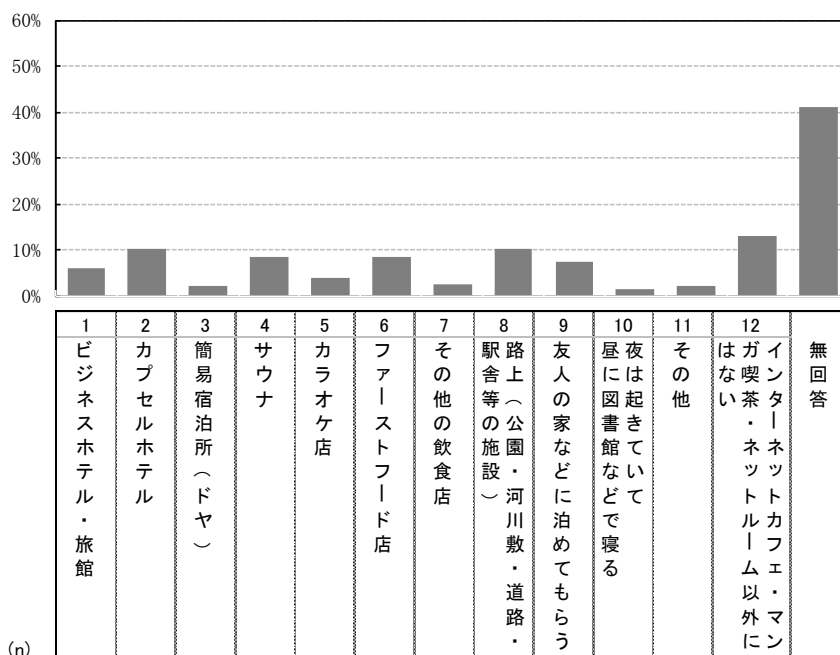
8. インターネットカフェ等以外の宿泊場所と頻度（問E・F）

インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルーム等以外の宿泊利用をみると、「よく（週2回以上）利用」だと「インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルーム以外は利用しない」が13.1%と一番多く、「カプセルホテル」10.3%、「路上（公園・河川敷・道路・駅舎等の施設）」10.1%と続いた。「たまに（週1回以下）利用」では、「カプセルホテル」が7.5%と多く、次いで「インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルーム以外は利用しない」7.1%となった。

「路上（公園・河川敷・道路・駅舎等の施設）」をよく（週2回以上）利用する人の割合をみると、「不安定就労者」17.4%（「派遣労働者」だけに絞ると23.7%）、「60歳以上」19.6%と高くなっている。

問E：インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルームなどのほかに、寝泊りするためにどのような場所を利用していますか。

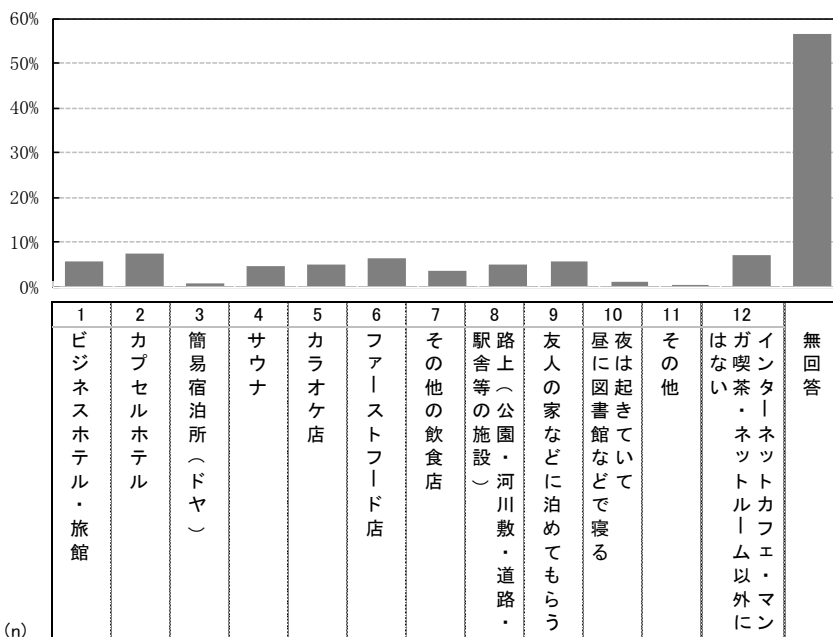
(1) よく(週2回以上)利用するものをすべてお選びください。



		(n)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	無回答	(%)
合計		(946)	5.9	10.3	2.1	8.4	3.9	8.4	2.6	10.1	7.4	1.5	2.2	13.1	41.0	
性別	男性	(813)	6.4	10.8	2.3	9.6	3.7	8.5	2.6	11.7	7.0	1.7	1.7	12.5	39.4	
	女性	(133)	3.0	6.8	0.8	0.8	5.3	7.5	3.0	0.8	9.8	0.0	5.3	16.5	51.1	
年齢別	19歳以下	(11)	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	54.5	
	20~29歳	(263)	4.9	6.5	1.5	5.3	6.5	6.8	3.0	4.6	13.7	1.1	1.5	14.8	50.2	
	30~39歳	(277)	6.5	11.6	1.1	7.6	5.1	10.5	3.6	13.0	6.5	1.1	1.4	10.1	39.0	
	40~49歳	(177)	5.1	11.3	1.7	10.2	1.1	6.2	0.6	9.0	4.0	2.3	2.3	18.6	41.8	
	50~59歳	(164)	5.5	12.8	4.3	12.8	1.8	12.2	2.4	14.0	3.7	2.4	3.0	10.4	30.5	
	60歳以上	(46)	6.5	10.9	2.2	8.7	2.2	0.0	4.3	19.6	4.3	0.0	6.5	10.9	32.6	
労働形態別	正社員	(331)	7.9	6.9	0.6	3.3	3.3	1.2	1.8	0.6	4.2	0.3	3.3	18.4	59.2	
	不安定就労者	(390)	4.6	13.8	3.6	11.8	3.6	13.8	3.1	17.4	8.2	2.6	2.1	8.5	28.7	
	派遣労働者	(131)	2.3	13.7	0.8	17.6	3.1	16.0	1.5	23.7	4.6	1.5	1.5	9.2	22.9	
	契約社員	(68)	5.9	10.3	2.9	1.5	2.9	2.9	0.0	7.4	4.4	0.0	1.5	11.8	54.4	
	パート・アルバイト	(191)	5.8	15.2	5.8	11.5	4.2	16.2	5.2	16.8	12.0	4.2	2.6	6.8	23.6	
	自営業	(46)	10.9	13.0	2.2	6.5	0.0	6.5	0.0	8.7	2.2	0.0	0.0	13.0	47.8	

「たまに（週1回以下）利用」は無回答が56.4%を占め、週1回以下で利用する場所はあまり定まっていないと考えられる。インターネットカフェ以外を利用する場合は、週2回以上でパターン化されている可能性がある。「路上（公園・河川敷・道路・駅舎等の施設）」も5.0%にとどまった。

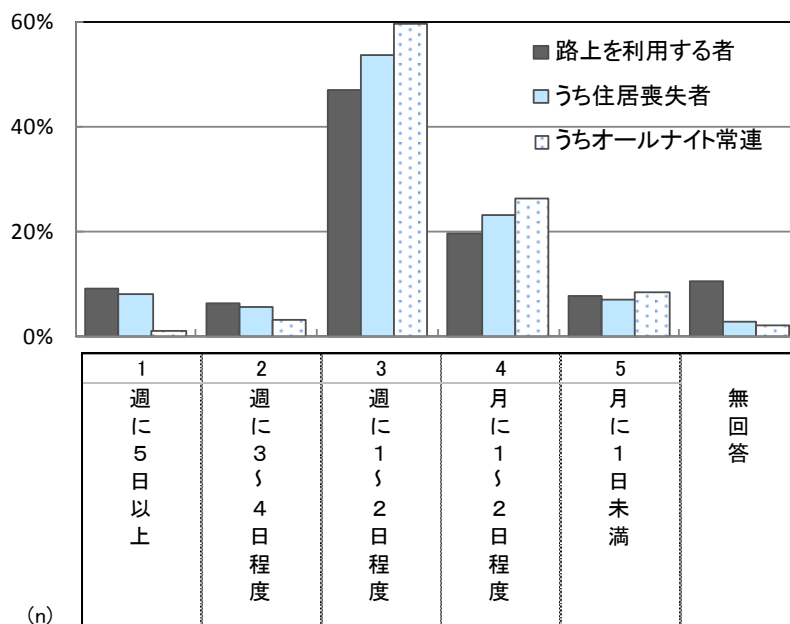
(2) たまに（週1回以下）利用するものをすべてお選びください。



		(n)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	無回答
合計		(946)	5.8	7.5	0.6	4.8	5.0	6.2	3.6	5.0	5.8	1.3	0.3	7.1	56.4 (%)
性別	男性	(813)	5.4	8.4	0.7	5.2	4.2	6.8	3.6	5.7	6.2	1.5	0.1	6.6	54.6
	女性	(133)	8.3	2.3	0.0	2.3	9.8	3.0	3.8	0.8	3.8	0.0	1.5	9.8	67.7
年齢別	19歳以下	(11)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	72.7
	20～29歳	(263)	6.1	4.2	0.4	1.1	9.1	3.0	2.3	2.7	6.1	0.8	0.4	7.2	65.4
	30～39歳	(277)	4.7	8.3	1.1	5.8	4.3	10.1	4.7	4.3	9.0	2.2	0.4	5.8	50.9
	40～49歳	(177)	9.6	11.3	0.6	7.9	4.0	5.6	2.8	5.1	3.4	0.6	0.6	9.0	49.7
	50～59歳	(164)	4.9	10.4	0.6	5.5	2.4	7.3	6.1	9.8	4.3	1.2	0.0	7.9	49.4
	60歳以上	(46)	2.2	0.0	0.0	6.5	0.0	2.2	0.0	6.5	0.0	2.2	0.0	2.2	78.3
労働形態別	正社員	(331)	8.5	6.6	0.0	2.1	3.9	0.9	0.9	0.0	1.5	0.3	0.6	12.1	69.2
	不安定就労者	(390)	4.1	10.0	0.8	6.9	5.9	10.8	5.9	8.5	7.9	2.3	0.3	3.8	42.8
	派遣労働者	(131)	4.6	9.9	0.0	10.7	5.3	13.0	7.6	9.9	11.5	2.3	0.8	2.3	37.4
	契約社員	(68)	7.4	8.8	1.5	2.9	7.4	2.9	1.5	1.5	4.4	5.9	0.0	13.2	54.4
	パート・アルバイト	(191)	2.6	10.5	1.0	5.8	5.8	12.0	6.3	9.9	6.8	1.0	0.0	1.6	42.4
	自営業	(46)	4.3	4.3	2.2	13.0	6.5	2.2	2.2	10.9	2.2	2.2	0.0	4.3	58.7

「路上（公園・河川敷・道路・駅舎等の施設）」の利用頻度をみると、「週に1～2日程度」が46.9%と高かった。これは前述の回答から、週2日に重きが置かれている可能性が高い。なお、「週に5日以上」も9.1%存在した。

問F：(問E(1)(2)で路上を利用すると回答したもののみ) 路上を利用されるのはどのくらいですか。



		(n)	1 週に 5日 以上	2 週に 3～ 4日 程度	3 週に 1～ 2日 程度	4 月に 1～ 2日 程度	5 月に 1日 未満	無 回 答	(%)
路上を(よく・たまに) 利用する者(合計)		(143)	9.1	6.3	46.9	19.6	7.7	10.5	
	うち住居喪失者	(112)	8.0	5.4	53.6	23.2	7.1	2.7	
	うちオールナイト常連 (週3回以上)	(98)	1.0	3.0	59.6	26.3	8.1	2.0	
性別	男性	(141)	9.2	6.4	47.5	19.9	7.8	9.2	
	女性	(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
年齢別	19歳以下	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20～29歳	(19)	0.0	0.0	47.4	21.1	10.5	21.1	
	30～39歳	(48)	4.2	4.2	60.4	16.7	6.3	8.3	
	40～49歳	(25)	8.0	8.0	56.0	24.0	0.0	4.0	
	50～59歳	(39)	12.8	7.7	30.8	25.6	15.4	7.7	
	60歳以上	(12)	33.3	16.7	25.0	0.0	0.0	25.0	
労働形態別	正社員	(2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	
	不安定就労者	(101)	5.0	6.9	54.5	19.8	8.9	5.0	
	派遣労働者	(44)	4.5	2.3	65.9	20.5	4.5	2.3	
	契約社員	(6)	0.0	16.7	66.7	0.0	16.7	0.0	
	パート・アルバイト	(51)	5.9	9.8	43.1	21.6	11.8	7.8	
	自営業	(9)	0.0	11.1	33.3	33.3	0.0	22.2	

第3章 住居喪失不安定就労者等の推計等

1. オールナイト利用者に占める住居喪失不安定就労者等の割合

オールナイト利用者全体に占める「①住居喪失者」の構成比は、東京都全体で25.8%、「②住居喪失不安定就労者」は75.8%であった。

【表3 住居喪失不安定就労者等の構成比】

(%)

		全オールナイト利用者	うち住居喪失者	うち住居喪失不安定就労者
有効回答数 (=オールナイト利用者)		100.0	25.8	75.8
性別	男性	85.9	97.5	97.8
	女性	14.1	2.5	2.2
年齢	19歳以下	1.2	0.0	0.0
	20～29歳	27.8	12.3	13.5
	30～39歳	29.3	38.5	38.9
	40～49歳	18.7	19.7	17.8
	50～59歳	17.3	27.9	28.1
	60歳以上	4.9	1.2	1.6
	無回答	0.8	0.4	0.0

2. 住居喪失不安定就労者等の数の推計

表1⑤で求めた「オールナイト利用者概数の推計値」に第2章第1節7.及び第3章1.で求めた構成実数(図表の構成比は小数第2位を四捨五入し小数第1位で表記した)を乗じることにより、各類型の住居喪失不安定就労者等の数を推計した。

インターネットカフェ等をオールナイト利用する「①住居喪失者」は1日あたり東京都全体で約4,000人、そのうち「②住居喪失不安定就労者」は約3,000人と推計される。

【表4 住居喪失不安定就労者等の推計値】

	推計値	オールナイト利用者中の構成比
①住居喪失者	約4,000人	25.8%
(内訳)		住居喪失者中の構成比
②住居喪失不安定就労者	約3,000人	75.8%
③住居喪失正社員	約200人	4.5%
④住居喪失自営業	約200人	4.9%
⑤住居喪失失業者	約300人	7.4%
⑥住居喪失無業者	約200人	5.7%

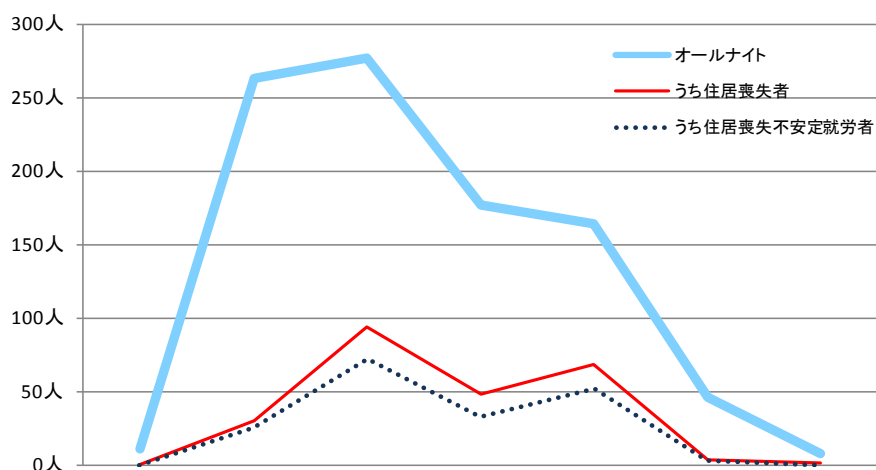
3. 住居喪失不安定就労者等の数の特徴

住居喪失不安定就労者等の年齢別人数

前頁2の住居喪失不安定就労者等の年齢別人数を求めた。

その結果が表5の通りである。年代別の構成で、住居喪失者、住居喪失不安定就労者のボリューム層は、30代と50代であった。

【表5 住居喪失不安定就労者等の年齢別人数】



(n)	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答	(人)
オールナイト利用者	(946)	11	263	277	177	164	46	8
うち住居喪失者	(244)	0	30	94	48	68	3	1
うち住居喪失不安定就労者	(185)	0	25	72	33	52	3	0

第3部 生活・就業実態調査

第1章 調査と集計の方法

1. 調査の方法

東京都のインターネットカフェ・漫画喫茶等のオールナイト利用者のうち、住居を失っている者等に対しては、該当者専用の質問を継続して行えるように調査票を設計しアンケートを実施したところ、363人の調査サンプルが回収された。

調査は、以下の2つの手法であった。 * 詳細は第1部 第2章調査・集計方法参照

- 1) 店舗利用者に店員から配布・回収
- 2) 店舗等にて専門調査員が聞き取りアンケートに記載

2. 集計の方法

調査結果の記述にあたり、問C「オールナイトの利用頻度」、問D「オールナイトの利用理由」、問G「就業状況」、問H「労働形態」への回答状況に応じて、対象者を表6のように類型化又は簡略表示をする。

なお、生活・就業実態調査においては、「帰宅困難者」を含めて「住居喪失者」としている。

【表6 「生活・就業実態調査」の回答状況による住居喪失不安定就労者等の類型化】

対象者の類型	調査における回答項目		
常連の利用者	①週5日以上	問C オールナイト利用頻度	
	②週3～4日程度		
住居喪失者	⑧現在「住居」がなく、寝泊りするために利用	問D オールナイト利用理由	
	帰宅困難者		⑥住居に帰りたくない事情があるため(当分の間帰らない)
			⑦現在「住居」を失うおそれがあり、寝泊りするために利用
不安定就労者	②派遣労働者	問H 労働形態	
	③契約社員		
	④パート・アルバイト		
正社員	①正社員	問G 就業状況	
自営業	⑤自営業		
失業者	③ふだん仕事をしていない(仕事を探している)		
無業者	④ふだん仕事をしていない(仕事を探していない)	問G 就業状況	
学生	⑤学生(学生アルバイトを含む)		

第2章 集計の結果

生活・就業実態調査の集計結果は以下のとおりである。

回答対象者が一部の属性の者に限定される質問文については、質問文の冒頭にどの質問の回答者に対して質問を行ったのかわかるように記載した。(調査票では、「Ｑ〇へ進む」などの記述によって、回答すべき項目をコントロールしている。)

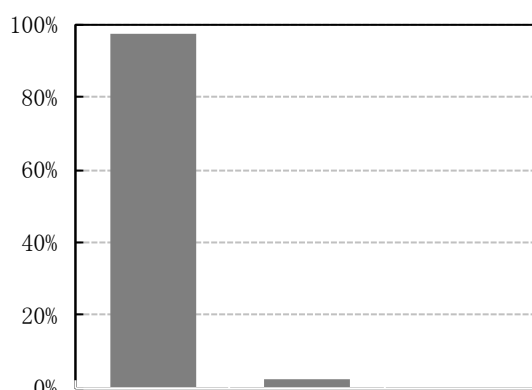
表中の「NA」は無回答を意味する。各項目のパーセントテージは四捨五入しているため、単純に合計しても100.0%にならない場合がある。

第1節 調査対象者の基本的属性

1. 性別（問A）

調査対象住居喪失者の9割以上が「男性」であった。

問A 性別をお選びください。



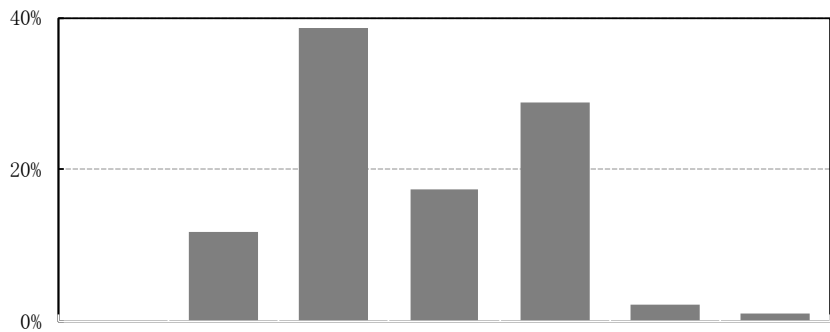
		(n)	1 男性	2 女性	無 回 答	(%)
合計		(363)	97.5	2.5	0.0	
性別	男性	(354)	100.0	0.0	0.0	
	女性	(9)	0.0	100.0	0.0	
労働形態別	正社員	(16)	93.8	6.3	0.0	
	不安定就労者	(271)	97.8	2.2	0.0	
	派遣労働者	(126)	96.8	3.2	0.0	
	契約社員	(16)	100.0	0.0	0.0	
	パート・アルバイト	(129)	98.4	1.6	0.0	
	自営業	(19)	100.0	0.0	0.0	

2. 年齢（問B）

調査対象住居喪失者の年齢は、「30～39歳」（38.6%）が最も多く、これに「50～59歳」（28.9%）が続く。

労働形態別で見ると、「派遣労働者」は「30～39歳」が多い。「パート・アルバイト」は「50～59歳」が最も多いが、「20～29歳」も約2割みられる。

問B 年齢をお選びください。

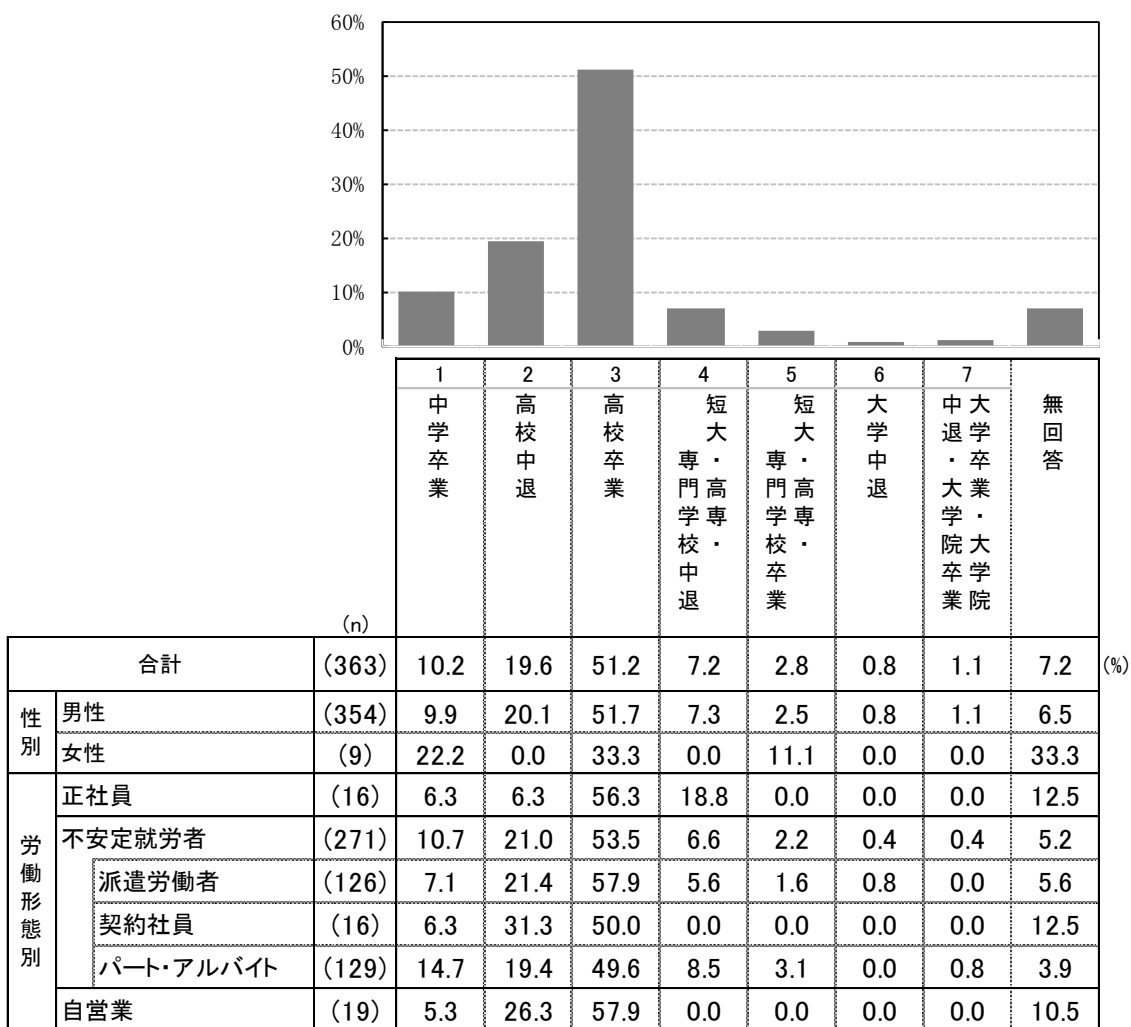


		(n)	1 19 歳 以下	2 20 ～ 29 歳	3 30 ～ 39 歳	4 40 ～ 49 歳	5 50 ～ 59 歳	6 60 歳 以上	無 回 答	(%)
合計		(363)	0.0	11.8	38.6	17.4	28.9	2.2	1.1	
性別	男性	(354)	0.0	11.3	39.0	17.5	28.8	2.3	1.1	
	女性	(9)	0.0	33.3	22.2	11.1	33.3	0.0	0.0	
労働 形態 別	正社員	(16)	0.0	6.3	56.3	12.5	25.0	0.0	0.0	
	不安定就労者	(271)	0.0	13.3	38.0	15.9	29.9	2.2	0.7	
	派遣労働者	(126)	0.0	6.3	56.3	18.3	18.3	0.8	0.0	
	契約社員	(16)	0.0	0.0	43.8	43.8	6.3	0.0	6.3	
	パート・アルバイト	(129)	0.0	21.7	19.4	10.1	44.2	3.9	0.8	
	自営業	(19)	0.0	0.0	42.1	21.1	36.8	0.0	0.0	

3. 学歴 (Q12)

調査対象住居喪失者の学歴は、「高校卒業」(51.2%)が最も多く、約半数を占める。
以下、「高校中退」(19.6%)、「中学卒業」(10.2%)が続く。

Q12 最後に卒業（または中退）した学校は次のどちらですか。



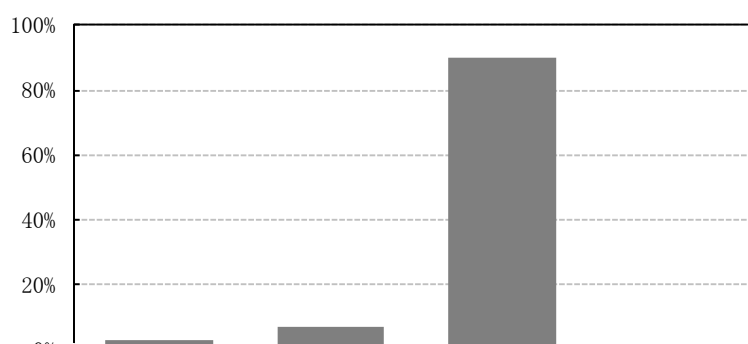
第2節 住居関係の状況

1. オールナイト利用の理由（問D）

調査対象住居喪失者の大半は、インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルームなどを「現在住居がなく、寝泊りするために利用」（90.1%）している。

問D インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルームなどをオールナイトで利用する主な理由として、次の中から最も近いものを一つお選びください。

※注：このアンケートでいう「住居」とは、ふだん帰る自宅やアパート、会社の寮・住み込み先などをいい、遠い実家は含みません。

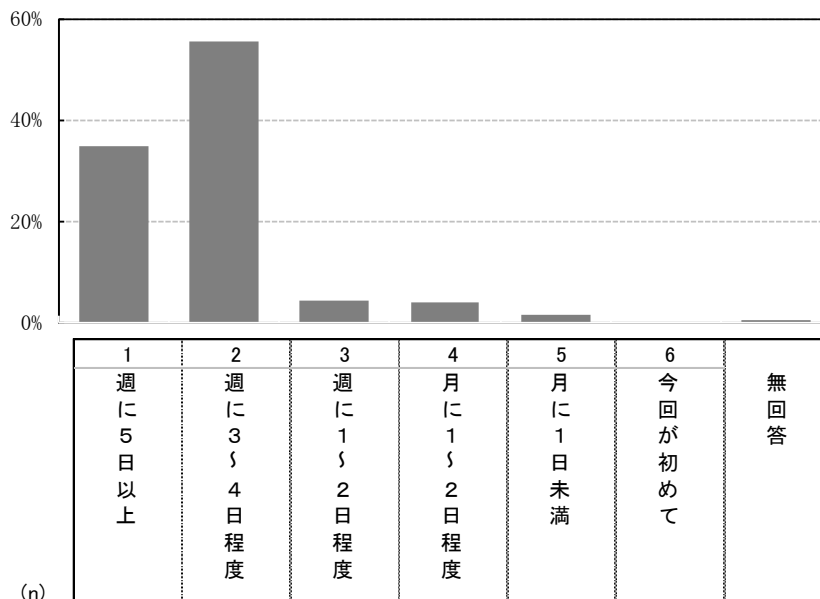


		(n)	6 （事情が間に帰らない）	7 寝泊りする間に、利用	8 寝泊りする間に、利用	無回答
合計		(363)	2.8	7.2	90.1	0.0
性別	男性	(354)	2.3	7.1	90.7	0.0
	女性	(9)	22.2	11.1	66.7	0.0
労働形態別	正社員	(16)	6.3	0.0	93.8	0.0
	不安定就労者	(271)	2.6	6.3	91.1	0.0
	派遣労働者	(126)	3.2	6.3	90.5	0.0
	契約社員	(16)	6.3	6.3	87.5	0.0
	パート・アルバイト	(129)	1.6	6.2	92.2	0.0
	自営業	(19)	5.3	0.0	94.7	0.0

2. オールナイト利用の頻度（問C）

調査対象住居喪失者のうち、「週に3～4日程度以上」（1・2）オールナイトを利用する「常連的利用者」が9割（90.1%）を占める。

問C インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルームなどをオールナイトで利用する頻度はどのくらいですか。



		(n)	1 週に 5日 以上	2 週に 3～ 4日 程度	3 週に 1～ 2日 程度	4 月に 1～ 2日 程度	5 月に 1日 未満	6 今回 が初 めて	無 回 答	(%)
合計		(363)	34.7	55.4	4.4	3.9	1.4	0.0	0.3	
性別	男性	(354)	34.2	56.5	4.2	3.7	1.4	0.0	0.0	
	女性	(9)	55.6	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	
労働形態別	正社員	(16)	43.8	43.8	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	
	不安定就労者	(271)	34.3	58.3	4.1	3.0	0.4	0.0	0.0	
	派遣労働者	(126)	33.3	61.9	4.0	0.0	0.8	0.0	0.0	
	契約社員	(16)	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	パート・アルバイト	(129)	31.8	57.4	4.7	6.2	0.0	0.0	0.0	
	自営業	(19)	31.6	68.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

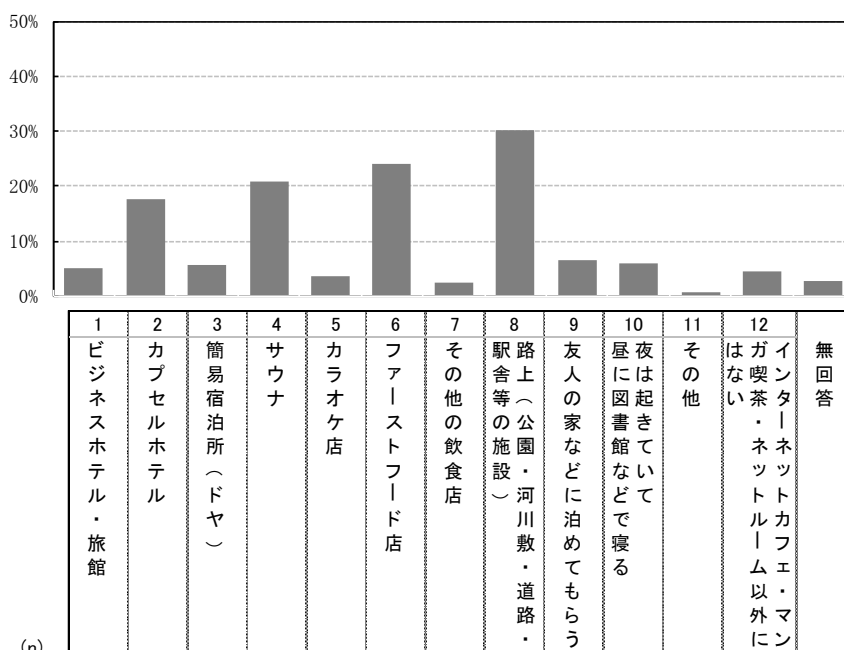
3. 寝泊りの場所（問E）

（1）よく（週2回以上）利用するもの

問E インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルームなどのほかに、寝泊りするためにどのような場所を利用していますか。

（1）よく（週2回以上）利用するものをすべてお選びください。

※（1）で12『インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルーム以外にはない』をお選びの場合は他の番号をお選びいただけません。



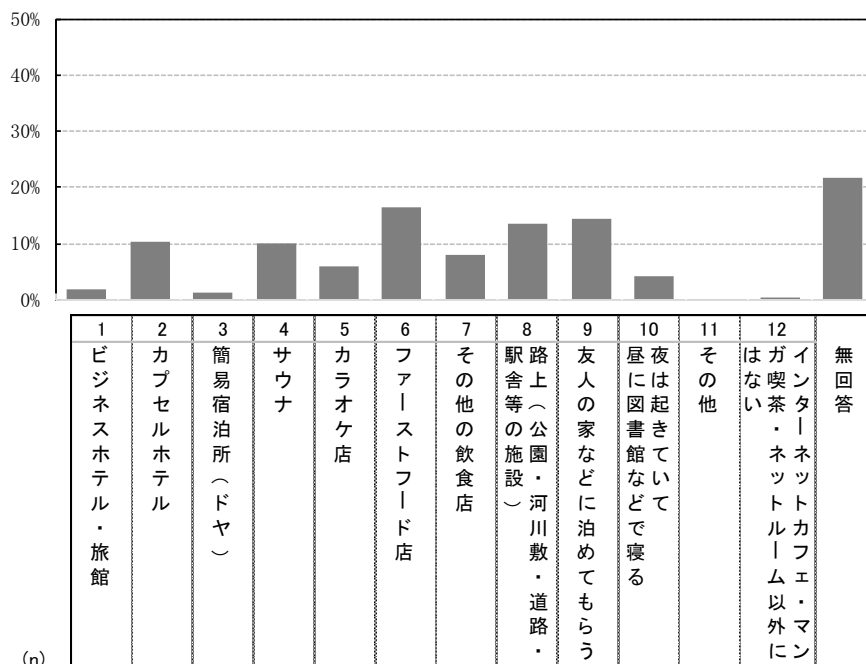
		(n)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	無回答
合計		(363)	5.0	17.6	5.5	20.9	3.6	24.0	2.5	30.3	6.6	6.1	0.6	4.4	2.8
性別	男性	(354)	5.1	17.5	5.4	21.2	3.4	23.7	2.3	31.1	6.5	6.2	0.6	4.5	2.8
	女性	(9)	0.0	22.2	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
労働形態別	正社員	(16)	6.3	12.5	6.3	25.0	0.0	25.0	0.0	6.3	0.0	12.5	0.0	6.3	18.8
	不安定就労者	(271)	4.1	19.9	5.5	20.3	3.3	23.6	1.8	33.6	7.4	5.5	0.7	4.4	2.2
	派遣労働者	(126)	4.0	15.1	0.8	21.4	4.8	25.4	2.4	37.3	4.0	4.0	0.8	5.6	2.4
	契約社員	(16)	0.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	37.5	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3
	パート・アルバイト	(129)	4.7	24.0	9.3	20.2	0.8	23.3	1.6	29.5	10.9	7.8	0.8	3.9	1.6
	自営業	(19)	15.8	15.8	0.0	15.8	0.0	21.1	0.0	26.3	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3

(2) たまに(週1回以下)利用するもの

問E インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルームなどのほかに、寝泊りするためにどのような場所を利用していますか。

(2) たまに(週1回以下)利用するものをすべてお選びください。

※(2)で12『インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルーム以外にはない』をお選びの場合は他の番号をお選びいただけません。



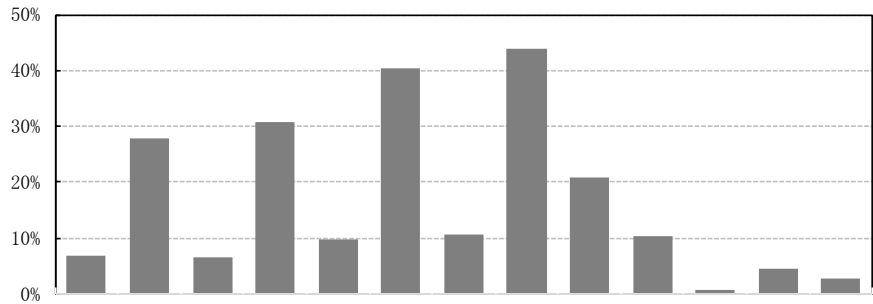
		(n)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	無回答	(%)
合計		(363)	1.9	10.2	1.1	9.9	6.1	16.5	8.0	13.5	14.3	4.1	0.0	0.3	21.8	
性別	男性	(354)	1.7	10.5	1.1	10.2	5.9	16.4	8.2	13.6	14.1	4.2	0.0	0.3	20.6	
	女性	(9)	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	66.7	
労働形態別	正社員	(16)	0.0	6.3	0.0	6.3	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
	不安定就労者	(271)	2.6	11.4	1.1	11.1	3.7	17.0	10.0	14.0	15.1	4.8	0.0	0.4	17.3	
	派遣労働者	(126)	3.2	11.9	0.0	15.9	4.0	16.7	10.3	11.9	15.9	4.8	0.0	0.0	18.3	
	契約社員	(16)	0.0	6.3	0.0	12.5	0.0	0.0	6.3	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	31.3	
	パート・アルバイト	(129)	2.3	11.6	2.3	6.2	3.9	19.4	10.1	17.8	13.2	2.3	0.0	0.8	14.7	
	自営業	(19)	0.0	0.0	0.0	21.1	31.6	0.0	0.0	21.1	0.0	5.3	0.0	0.0	21.1	

(3) 利用するもの((1)と(2)の合計)

調査対象住居喪失者のうち、寝泊まりの場所として「インターネットカフェ等のみ」利用する者(12)は4.4%で、逆に言えば、これらに該当しない9割以上の者は、寝泊まりのために路上やインターネットカフェ等以外の施設も利用しているということになる。

「路上」を利用する者の割合は、43.8%である。

その他の施設の利用状況をみると、「ファーストフード店」(40.5%)や「サウナ」(30.9%)が多く利用されている。



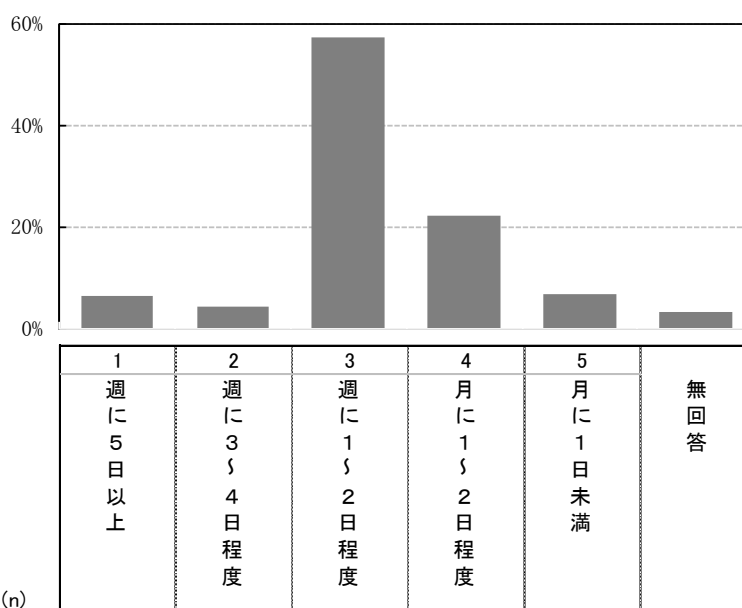
		(n)	1 ビジネスホテル・旅館	2 カプセルホテル	3 簡易宿泊所(ドヤ)	4 サウナ	5 カラオケ店	6 ファーストフード店	7 その他の飲食店	8 路上(公園・河川敷・道路・駅舎等の施設)	9 友人の家などに泊めてもらう	10 夜は起きていて昼に図書館などで寝る	11 その他	12 インターネットカフェ・ネットルーム以外にない	無回答
合計		(363)	6.9	27.8	6.6	30.9	9.6	40.5	10.5	43.8	20.9	10.2	0.6	4.4	2.8
性別	男性	(354)	6.8	28.0	6.5	31.4	9.3	40.1	10.5	44.6	20.6	10.5	0.6	4.5	2.8
	女性	(9)	11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	55.6	11.1	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
労働形態別	正社員	(16)	6.3	18.8	6.3	31.3	25.0	37.5	0.0	6.3	0.0	12.5	0.0	6.3	18.8
	不安定就労者	(271)	6.6	31.4	6.6	31.4	7.0	40.6	11.8	47.6	22.5	10.3	0.7	4.4	2.2
	派遣労働者	(126)	7.1	27.0	0.8	37.3	8.7	42.1	12.7	49.2	19.8	8.7	0.8	5.6	2.4
	契約社員	(16)	0.0	31.3	12.5	25.0	12.5	12.5	6.3	37.5	31.3	25.0	0.0	0.0	6.3
	パート・アルバイト	(129)	7.0	35.7	11.6	26.4	4.7	42.6	11.6	47.3	24.0	10.1	0.8	3.9	1.6
	自営業	(19)	15.8	15.8	0.0	36.8	31.6	21.1	0.0	47.4	5.3	5.3	0.0	0.0	5.3

4. 路上で寝泊りする頻度（問F）

寝泊まりに路上を利用している者（調査対象住居喪失者の 43.8%）が、寝泊まりに路上を利用する頻度は「週に1~2日程度」が57.2%で最も多く、これに「月に1~2日程度」（22.0%）が続く。

問F 【問Fは問Eで(1)または(2)で8とお答えの方に伺います】

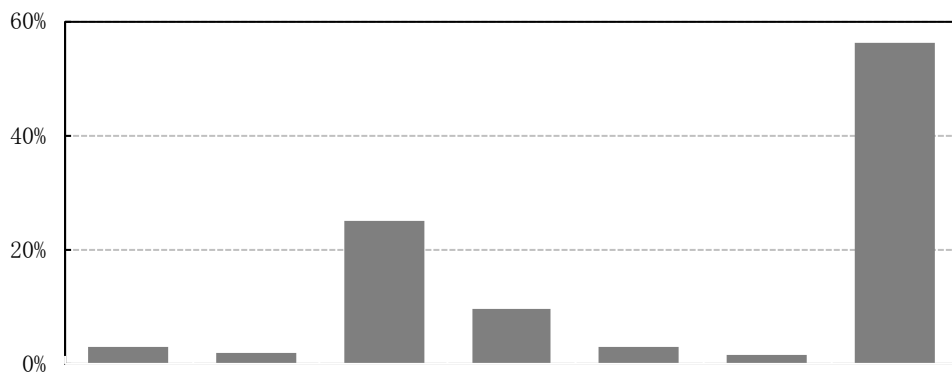
路上（公園・河川敷・道路・駅舎等の施設）を利用されるのは、どのくらいですか。



		(n)	1	2	3	4	5	無回答	(%)
路上をよく・たまに利用する者(合計)		(159)	6.3	4.4	57.2	22.0	6.9	3.1	
性別	男性	(158)	6.3	4.4	57.6	22.2	7.0	2.5	
	女性	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
労働形態別	正社員	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	不安定就労者	(129)	3.9	3.9	62.8	20.2	7.0	2.3	
	派遣労働者	(62)	3.2	1.6	72.6	17.7	3.2	1.6	
	契約社員	(6)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	パート・アルバイト	(61)	4.9	6.6	49.2	24.6	11.5	3.3	
	自営業	(9)	0.0	11.1	44.4	44.4	0.0	0.0	

寝泊り場所としての路上の利用状況

問E, Fの結果から、寝泊りに路上を（よく・たまに）利用することがない者を含めた、住居喪失者の路上利用状況は以下のとおりである。



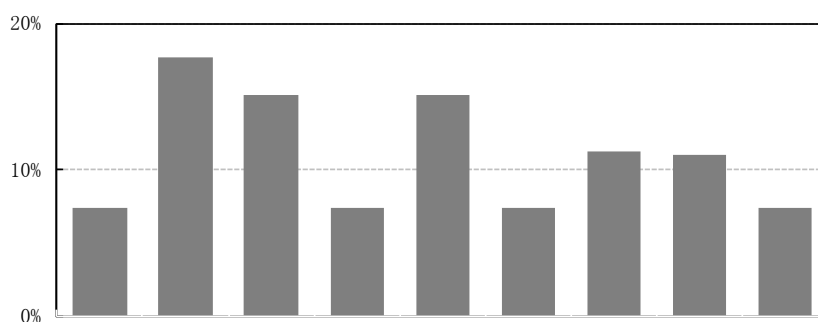
	(n)	問F					無回答	問E
		1 週に 5日 以上	2 週に 3 〜 4 日 程度	3 週に 1 〜 2 日 程度	4 月に 1 〜 2 日 程度	5 月に 1 日 未 満		とま路 がに上 ないを 利用へ するよ く・た こた
合計	(363)	2.8	1.9	25.1	9.6	3.0	1.4	56.2 (%)

5. 住居喪失期間（Q1）

住居を失ってから期間は、「最近」（1・2）から「10年以上」（8）までばらついている。

労働形態別で見ると、派遣労働者では「1か月～3か月未満」が最も多く、最近住居を失った人が多いのに対し、パート・アルバイトでは「5年～10年未満」が最も多く、住居を失って長期間経過した人が多い。

Q1 「住居」がなくなってから（または「住居」に帰らなくなってから）の期間はどのくらいですか。



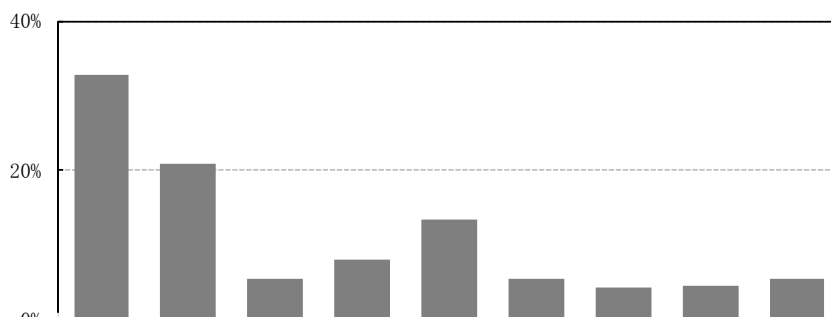
		(n)	1 1 か 月 未 満	2 1 か 月 ～ 3 か 月 未 満	3 3 か 月 ～ 6 か 月 未 満	4 6 か 月 ～ 1 年 未 満	5 1 年 ～ 3 年 未 満	6 3 年 ～ 5 年 未 満	7 5 年 ～ 1 0 年 未 満	8 1 0 年 以 上	無 回 答
合計		(363)	7.4	17.6	15.2	7.4	15.2	7.4	11.3	11.0	7.4
性別	男性	(354)	7.3	17.8	15.5	7.6	15.3	7.3	11.6	10.7	6.8
	女性	(9)	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	22.2	33.3
労働 形態 別	正社員	(16)	25.0	6.3	12.5	12.5	18.8	6.3	0.0	0.0	18.8
	不安定就労者	(271)	6.3	18.5	15.5	8.1	13.7	8.9	12.9	10.7	5.5
	派遣労働者	(126)	8.7	27.0	15.1	6.3	14.3	6.3	7.1	8.7	6.3
	契約社員	(16)	12.5	31.3	12.5	0.0	0.0	18.8	0.0	6.3	18.8
	パート・アルバイト	(129)	3.1	8.5	16.3	10.9	14.7	10.1	20.2	13.2	3.1
	自営業	(19)	0.0	21.1	0.0	0.0	21.1	10.5	21.1	21.1	5.3

6. 住居喪失の理由 (Q2)

住居を喪失するに至った理由としては、「仕事を辞めて家賃等を払えなくなった(なりそう)ため」(32.9%)、「仕事を辞めて寮や住み込み先を出た(出ることになりそう)ため」(21.0%)が多くあげられており、「仕事を辞めたことが原因で住居を失った」(1・2)とする者が過半数を占めている。ついで、「家族との関係が悪く、住居を出た(出ることになりそう)ため」という者も13.3%みられる。

Q2 【Q2は問Dで7,8とお答えの方に伺います】

「住居」がなくなった(失うおそれがある)のは、主にどのような理由によりますか。次の中から二つだけお選びください。



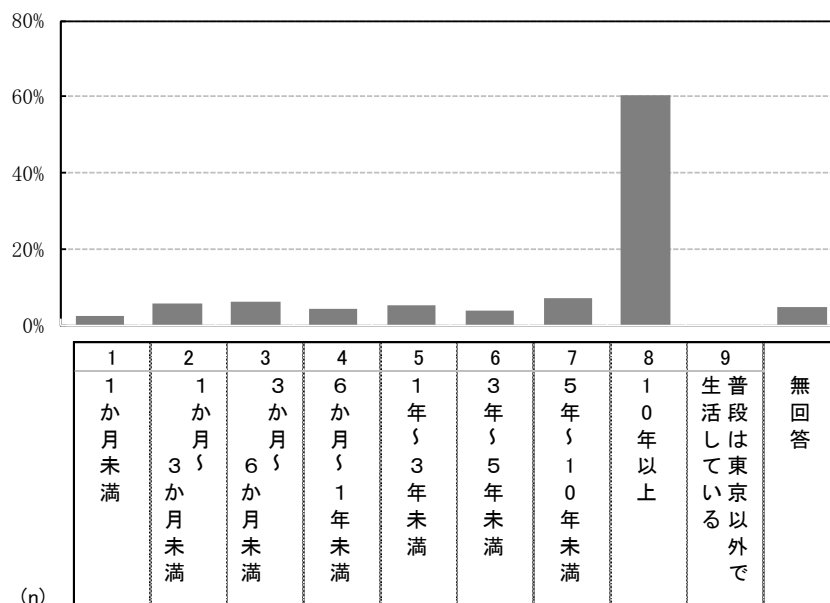
		(n)	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
住居喪失・喪失のおそれがある者(合計)		(353)	32.9	21.0	5.4	7.9	13.3	5.4	4.2	4.5	5.4
性別	男性	(346)	33.2	20.5	5.5	7.8	13.6	5.5	4.3	4.3	5.2
	女性	(7)	14.3	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
労働形態別	正社員	(15)	26.7	6.7	13.3	26.7	6.7	0.0	0.0	6.7	13.3
	不安定就労者	(264)	33.7	21.6	4.5	7.2	14.8	5.3	4.9	4.5	3.4
	派遣労働者	(122)	33.6	26.2	7.4	5.7	13.1	4.1	4.9	1.6	3.3
	契約社員	(15)	33.3	6.7	0.0	0.0	20.0	13.3	6.7	0.0	20.0
	パート・アルバイト	(127)	33.9	18.9	2.4	9.4	15.7	5.5	4.7	7.9	1.6
自営業	(18)	55.6	11.1	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	

7. 東京都内での生活期間（Q3）

東京都内で生活するようになった期間は、「10年以上」（60.6%）が最も多く、約6割を占める。これに、「5年～10年未満」（7.1%）、「3か月～6か月未満」（6.2%）が続く。

Q3 【Q3は問Dで7,8とお答えの方に伺います】

東京都内で生活されるようになってからの期間はどのくらいですか。



		(n)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答	(%)
住居喪失・喪失のおそれがある者(合計)		(353)	2.3	5.9	6.2	4.2	5.1	3.7	7.1	60.6	0.0	4.8	
性別	男性	(346)	2.0	5.8	6.4	4.3	4.9	3.8	7.2	61.0	0.0	4.6	
	女性	(7)	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	42.9	0.0	14.3	
労働形態別	正社員	(15)	13.3	13.3	0.0	0.0	13.3	6.7	13.3	26.7	0.0	13.3	
	不安定就労者	(264)	1.5	6.4	6.1	4.5	5.7	3.0	6.8	62.9	0.0	3.0	
	派遣労働者	(122)	2.5	10.7	7.4	2.5	6.6	4.1	4.9	59.0	0.0	2.5	
	契約社員	(15)	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	13.3	60.0	0.0	20.0	
	パート・アルバイト	(127)	0.8	3.1	5.5	7.1	4.7	2.4	7.9	66.9	0.0	1.6	
	自営業	(18)	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	0.0	0.0

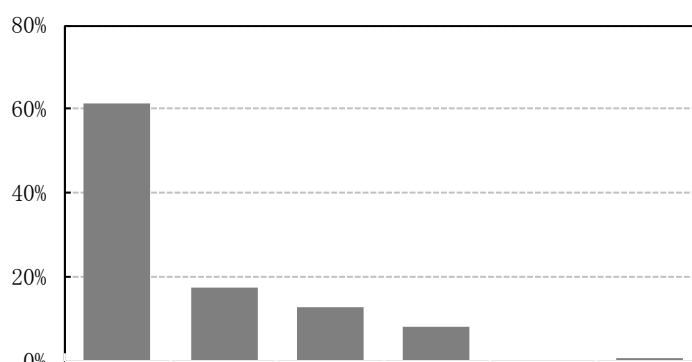
8. 直前に生活していた場所（Q4）

東京都内で生活している者のうち、「東京都内でしか生活したことがない」という者が61.6%を占める。

東京以外で生活していた場所は、「埼玉県・千葉県・神奈川県」が17.3%、「茨城県・栃木県・群馬県」が12.8%、「それ以外の道府県」が8.0%である。

Q4 【Q4はQ3で1～8とお答えの方に伺います】

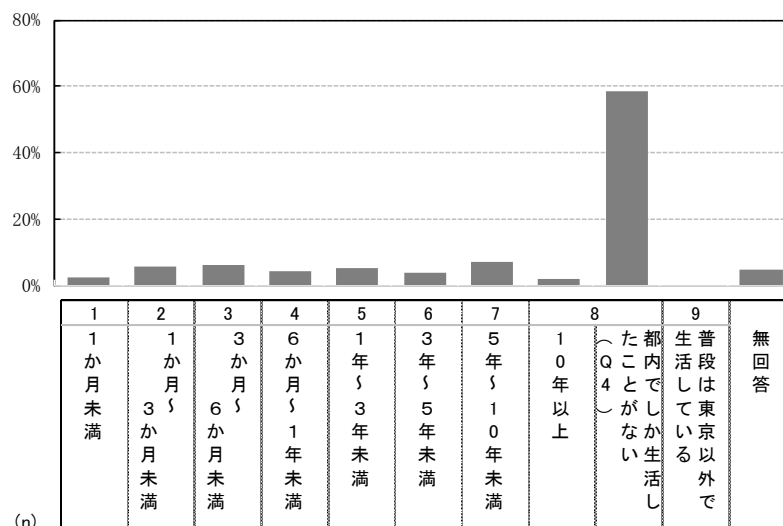
東京都内で生活される前は、どちらで生活をされていましたか。直前に生活されていたところを一つだけお選びください。



		(n)	1 活 東 京 都 内 で し か し な い 生	2 神 奈 川 県 ・ 千 葉 県 ・ 埼 玉 県	3 群 馬 県 ・ 茨 城 県 ・ 栃 木 県	4 そ れ 以 外 の 道 府 県	5 海 外	無 回 答	(%)
Q3で1～8と回答した者の合計		(336)	61.6	17.3	12.8	8.0	0.0	0.3	
性別	男性	(330)	62.1	17.3	12.7	7.6	0.0	0.3	
	女性	(6)	33.3	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	
労働形態別	正社員	(13)	23.1	53.8	15.4	7.7	0.0	0.0	
	不安定就労者	(256)	63.3	16.0	12.9	7.4	0.0	0.4	
	派遣労働者	(119)	59.7	16.8	15.1	8.4	0.0	0.0	
	契約社員	(12)	75.0	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	
	パート・アルバイト	(125)	65.6	16.0	11.2	6.4	0.0	0.8	
	自営業	(18)	72.2	0.0	11.1	16.7	0.0	0.0	

住居喪失者の都内での生活状況

Q3, 4の結果から、東京都内でしか生活したことがない者を含めた、住居喪失者の都内での生活状況は以下のとおりである。



		(n)	1 1 か月 未 満	2 1 か月 3 か 月 未 満	3 3 か 月 6 か 月 未 満	4 6 か 月 1 年 未 満	5 1 年 3 年 未 満	6 3 年 5 年 未 満	7 5 年 1 0 年 未 満	8 1 0 年 以 上 (Q 4 た 都 内 で し か 生 活 し な い こ と が な い)	9 普 段 は 東 京 以 外 で 生 活 し て い る)	無 回 答	
住居喪失・ 喪失のおそれがある者(合計)		(353)	2.3	5.9	6.2	4.2	5.1	3.7	7.1	2.0	58.6	0.0	4.8
性別	男性	(346)	2.0	5.8	6.4	4.3	4.9	3.8	7.2	1.7	59.2	0.0	4.6
	女性	(7)	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3
労働形態別	正社員	(15)	13.3	13.3	0.0	0.0	13.3	6.7	13.3	6.7	20.0	0.0	13.3
	不安定就労者	(264)	1.5	6.4	6.1	4.5	5.7	3.0	6.8	1.5	61.4	0.0	3.0
	派遣労働者	(122)	2.5	10.7	7.4	2.5	6.6	4.1	4.9	0.8	58.2	0.0	2.5
	契約社員	(15)	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	13.3	0.0	60.0	0.0	20.0
	パート・アルバイト	(127)	0.8	3.1	5.5	7.1	4.7	2.4	7.9	2.4	64.6	0.0	1.6
	自営業	(18)	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	72.2	0.0	0.0

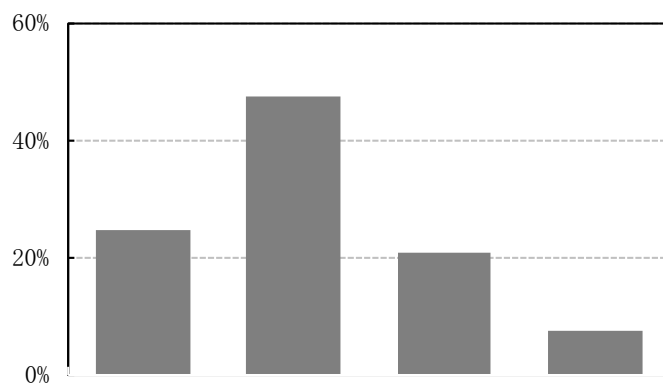
9. 住居確保の希望・活動（Q5）

住居を確保することに対する姿勢については、「住居を確保したいが、具体的な活動・努力（貯蓄など）はしていない」とする者が多い（47.4%）。

一方、「住居を確保したいと思わない」とする者が、24.5%に及んでいる。

労働形態別でみると、パート・アルバイトでは「住居を確保したいが、具体的な活動・努力（貯蓄など）はしていない」が6割近くを占める。

Q5 「住居」を確保することについて、あてはまるものはどれですか。



		(n)	1 「住居を確保したいと思わない」	2 「住居を確保したいが、具体的な活動・努力（貯蓄など）はしていない」	3 「住居を確保したいが、具体的な活動・努力（貯蓄など）はしている」	無回答	(%)
合計		(363)	24.5	47.4	20.7	7.4	
性別	男性	(354)	24.3	47.7	21.2	6.8	
	女性	(9)	33.3	33.3	0.0	33.3	
労働形態別	正社員	(16)	37.5	25.0	18.8	18.8	
	不安定就労者	(271)	23.2	50.2	21.0	5.5	
	派遣労働者	(126)	31.0	45.2	18.3	5.6	
	契約社員	(16)	25.0	31.3	18.8	25.0	
	パート・アルバイト	(129)	15.5	57.4	24.0	3.1	
	自営業	(19)	26.3	31.6	36.8	5.3	

ここで、住居確保の希望・活動の状態が他のどんな要素と関係を有するのか探るため、Q5と他の各項目とのクロス集計を行い、その主な結果を整理すると表7のとおりとなる。ここから「住居を確保したいと思わない」とする割合は、40～49歳、住居喪失から3か月～6か月未満の者、正社員、派遣労働者、無業者、奨学金あるいは知人・友人から借金をしている者で高い傾向がみられる。

【表7 住居確保の希望・活動に関する各類型の特徴】

		(n)	Q5		
			住居を確保したいと思わない(1) (100.0=89人)	住居を確保したいが努力はしていない(2) (100.0=172人)	住居確保の努力をしている(3) (100.0=75人)
年齢層(問B)	19歳以下(1)	(0)	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(2・3)	(43)	20.9	62.8	11.6
	30～39歳(4・5)	(140)	25.7	46.4	22.9
	40～49歳(6・7)	(63)	33.3	27.0	28.6
	50～59歳(8・9)	(105)	21.9	55.2	16.2
	60歳以上(10)	(8)	0.0	62.5	25.0
	34歳未満(1～4)	(139)	21.6	59.0	15.8
	35歳以上(5～10)	(220)	26.8	40.9	23.6
寝泊まりの場所(問E)	路上(8)(よく+たまに)	(159)	23.3	56.6	18.9
住居喪失期間(Q1)	1か月未満(1)	(27)	22.2	59.3	18.5
	1か月～3か月未満(2)	(64)	17.2	64.1	18.8
	3か月～6か月未満(3)	(55)	36.4	43.6	20.0
	6か月未満計(1～3)	(146)	25.3	55.5	19.2
住居確保上の問題(Q6)	問題なし(11)	(34)	23.5	58.8	17.6
労働形態(問G・H)	正社員(問H=1)	(16)	37.5	25.0	18.8
	不安定就労者(問H=2～4)	(271)	23.2	50.2	21.0
	派遣労働者(問H=2)	(126)	31.0	45.2	18.3
	契約社員(問H=3)	(16)	25.0	31.3	18.8
	パート・アルバイト(問H=4)	(129)	15.5	57.4	24.0
	自営業(問H=5)	(19)	26.3	31.6	36.8
	失業者(問G=3)	(30)	20.0	50.0	16.7
	無業者(問G=4)	(19)	42.1	47.4	0.0
職種(Q7)	建設関係(5)	(138)	25.4	45.7	27.5
借金の状況(Q17)	消費者金融(1)	(89)	24.7	51.7	22.5
	奨学金(2)	(9)	55.6	33.3	11.1
	知人・友人から(3)	(23)	52.2	43.5	4.3
	その他の借金(4)	(14)	21.4	21.4	50.0

(注)数字は、住居喪失者をQ5(住居確保の希望・活動)への回答に基づいて、「住居を確保したいと思わない(1)」

「住居を確保したいが努力はしていない(2)」「住居確保の努力をしている(3)」の3類型に分け、

それぞれのうち表側の各項目に該当する者がどのぐらいの割合であるかを表している。

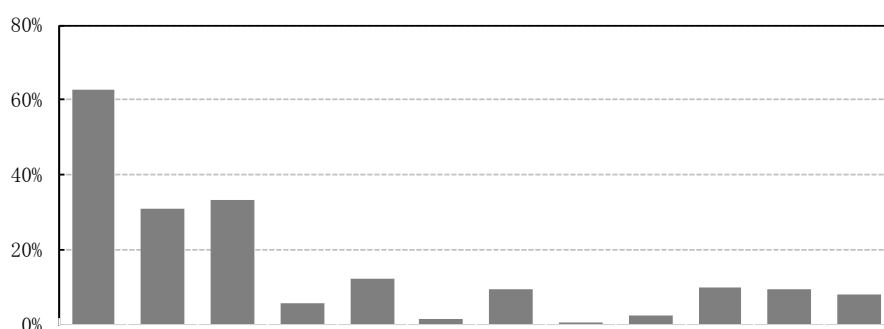
10. 住居確保にあたっての問題（Q6）

住居を確保するに当たっての問題点としては、「住居入居初期費用（敷金等）の貯蓄の難しさ」（1）が最も多くあげられている（62.8%）。ついで、「住居入居後に家賃を払い続けられる安定収入がない」（3）ことがあげられている（33.3%）。また「入居保証人の確保の難しさ」（2）を問題点としてあげる者も多い（30.9%）。

Q6 「住居」を確保することに関して、問題になっていることはありますか。

次の中からあてはまるものをすべてお選びください。

※11『特に問題になることはない』をお選びの場合は他の番号をお選びいただけません。



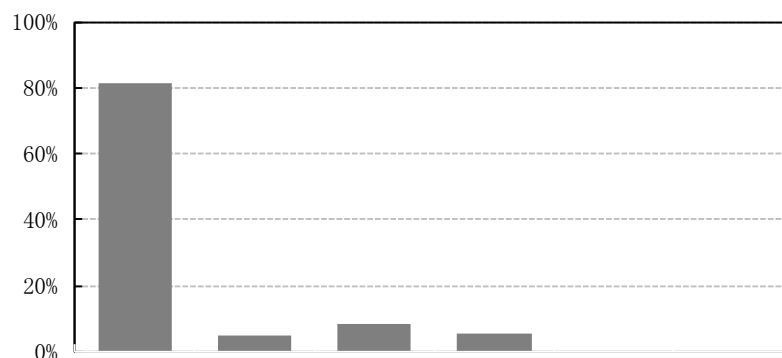
		(n)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	無回答
合計		(363)	62.8	30.9	33.3	5.5	12.1	1.7	9.6	0.3	2.5	9.9	9.4	8.0 (%)
性別	男性	(354)	63.6	30.8	33.9	5.6	12.4	1.7	9.9	0.3	2.3	10.2	9.6	7.3
	女性	(9)	33.3	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3
労働形態別	正社員	(16)	50.0	25.0	25.0	0.0	6.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	不安定就労者	(271)	61.6	30.3	25.8	4.4	10.7	2.2	3.3	0.4	0.7	0.4	12.2	5.9
	派遣労働者	(126)	61.1	31.7	22.2	4.0	10.3	2.4	4.0	0.0	0.0	0.8	13.5	5.6
	契約社員	(16)	31.3	31.3	18.8	6.3	18.8	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0
	パート・アルバイト	(129)	65.9	28.7	30.2	4.7	10.1	1.6	3.1	0.8	1.6	0.0	10.9	3.9
自営業	(19)	63.2	52.6	42.1	21.1	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	

第3節 就業関係の状況

1. 就業状況（問G）

調査対象住居喪失者は、「仕事をしている者」（1・2）が86.5%と大半を占める。

問G ふだん、お仕事をしていますか。次の中から一つお選びください。



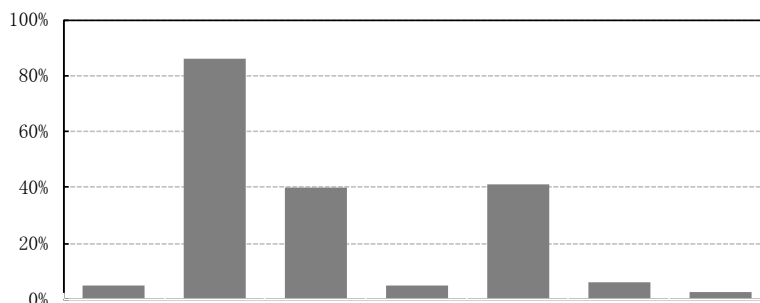
		(n)	1	2	3	4	5	無回答	(%)
合計		(363)	81.5	5.0	8.3	5.2	0.0	0.0	
性別	男性	(354)	81.6	5.1	8.5	4.8	0.0	0.0	
	女性	(9)	77.8	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	
労働形態別	正社員	(16)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	不安定就労者	(271)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	派遣労働者	(126)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	契約社員	(16)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	パート・アルバイト	(129)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	自営業	(19)	10.5	89.5	0.0	0.0	0.0	0.0	

2. 労働形態（問H）

調査対象住居喪失者のうち就業者の労働形態については、「パート・アルバイト」（41.1%）と「派遣労働者」（40.1%）が多く、不安定就労者が86.3%を占める。

問H 【問Hは問Gで1,2とお答えの方に伺います】

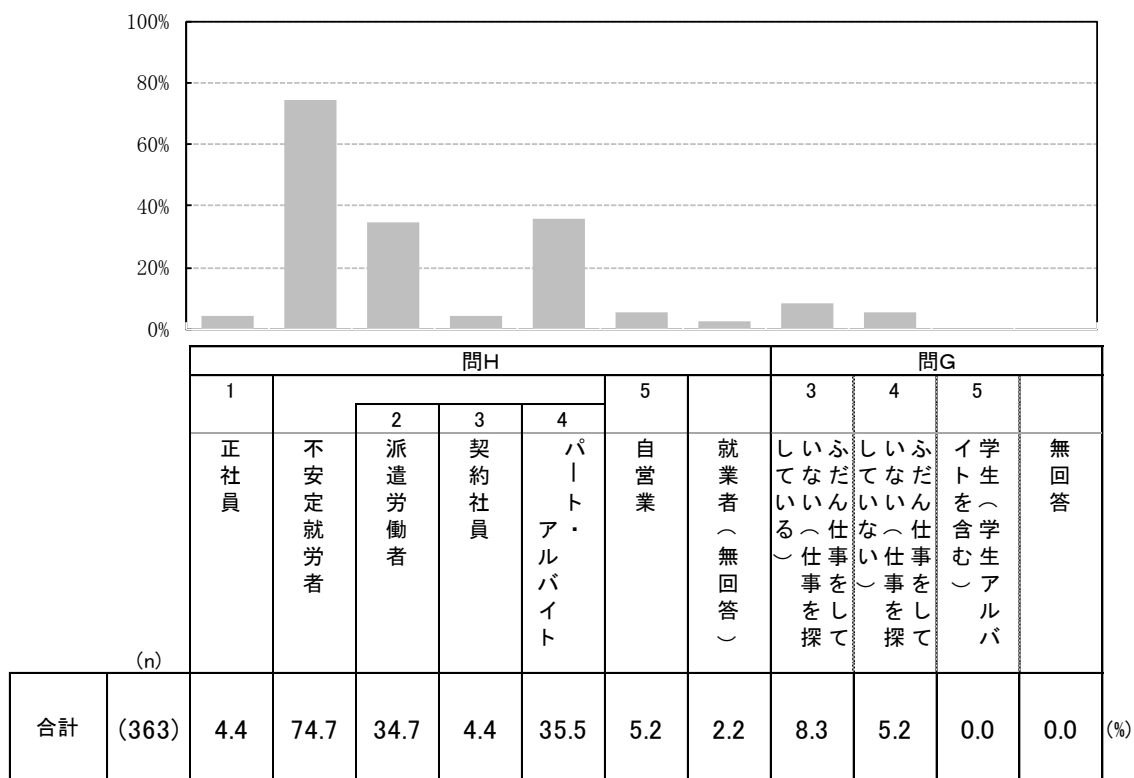
現在のお仕事の形態は次のどちらにあてはまりますか。次の中から一つお選びください。



		(n)	1 正社員	2 不安定就労者	3 派遣労働者	4 パート・アルバイト	5 自営業	無回答	(%)
生計のための仕事 家計補助の仕事をしている者 合計		(314)	5.1	86.3	40.1	41.1	6.1	2.5	
性別	男性	(307)	4.9	86.3	39.7	41.4	6.2	2.6	
	女性	(7)	14.3	85.7	57.1	28.6	0.0	0.0	
労働形態別	正社員	(16)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	不安定就労者	(271)	0.0	100.0	46.5	47.6	0.0	0.0	
	派遣労働者	(126)	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	契約社員	(16)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	パート・アルバイト	(129)	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	自営業	(19)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

住居喪失者の就業状況と労働形態

問G、Hの結果から、仕事をしていない者を含めた、住居喪失者の就業状況と労働形態は以下のとおりである。

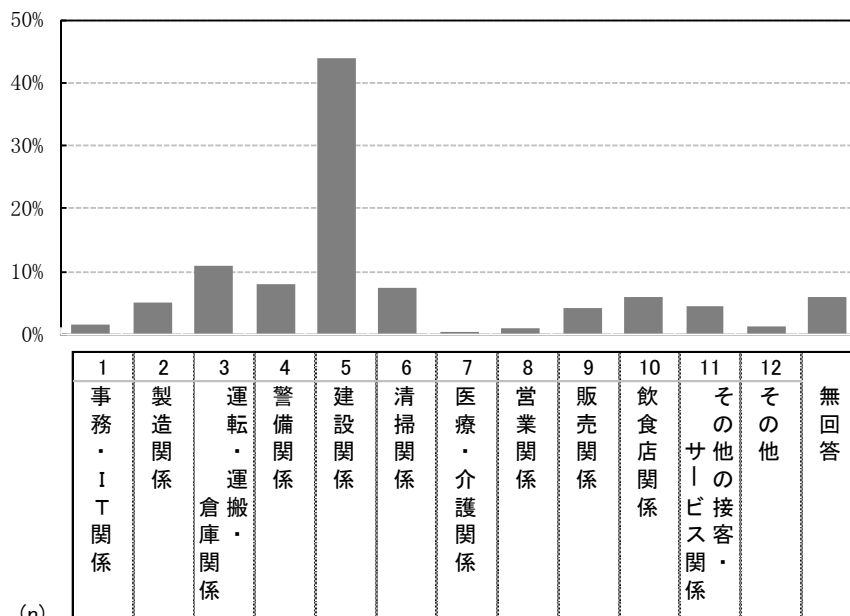


3. 職種（Q7）

調査対象住居喪失者のうち就業者の職種については、「建設関係」が最も多い(43.9%)。次いで、「運転・運輸・倉庫関係」(10.8%)、「警備関係」(8.0%)が多い。

Q7 【Q7は問Gで1,2とお答えの方に伺います】

現在のお仕事の職種は次のどちらにあてはまりますか。次の中から主なものを一つお選びください。

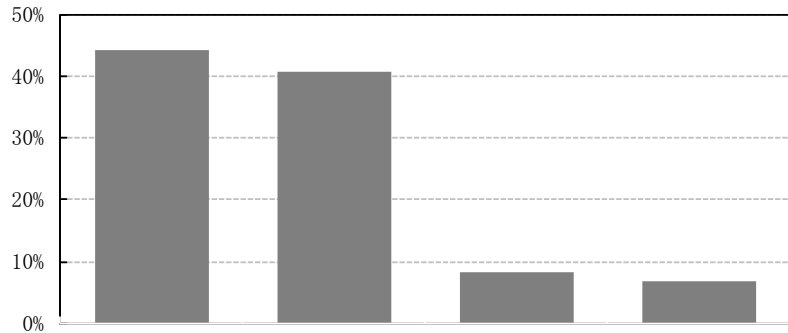


		(n)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	無回答	(%)
生計のための仕事 家計補助の仕事をして いる者の合計		(314)	1.6	5.1	10.8	8.0	43.9	7.3	0.3	1.0	4.1	6.1	4.5	1.3	6.1	
性別	男性	(307)	1.6	5.2	10.4	8.1	44.3	7.5	0.3	1.0	4.2	6.2	4.2	1.0	5.9	
	女性	(7)	0.0	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	
労働形態別	正社員	(16)	12.5	0.0	6.3	6.3	50.0	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5	
	不安定就労者	(271)	1.1	5.9	12.2	8.1	46.5	8.1	0.4	1.1	4.1	0.7	5.2	1.5	5.2	
	派遣労働者	(126)	2.4	6.3	13.5	5.6	42.9	6.3	0.8	2.4	3.2	1.6	7.9	1.6	5.6	
	契約社員	(16)	0.0	0.0	6.3	0.0	68.8	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	12.5	
	パート・アルバイト	(129)	0.0	6.2	11.6	11.6	47.3	10.1	0.0	0.0	5.4	0.0	2.3	1.6	3.9	
自営業		(19)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	89.5	0.0	0.0	5.3	

4. フルタイム勤務の経験（Q8）

フルタイム勤務（1日8時間・週5日程度）をした経験については、「経験のある者」（1・2）が8割以上を占める。そのうち、「現在フルタイムで働いている」（1）者は44.1%である。

Q8 これまで、フルタイム（1日8時間・週5日程度）で勤務した経験はありますか。



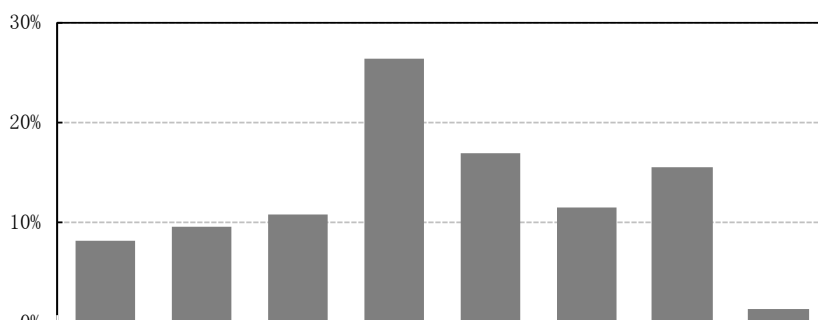
		(n)	1 働 い 在 て フ い ル タ イ ム で	2 働 以 前 た フ ル タ イ ム が あ る で	3 働 フ 今 い ル ま た タ ま で こ ト も が な い	無 回 答	(%)
合計		(363)	44.1	40.8	8.3	6.9	
性別	男性	(354)	44.1	41.2	8.5	6.2	
	女性	(9)	44.4	22.2	0.0	33.3	
労働形態別	正社員	(16)	81.3	6.3	0.0	12.5	
	不安定就労者	(271)	49.4	45.4	0.4	4.8	
	派遣労働者	(126)	88.9	4.8	0.8	5.6	
	契約社員	(16)	81.3	6.3	0.0	12.5	
	パート・アルバイト	(129)	7.0	89.9	0.0	3.1	
	自営業	(19)	0.0	5.3	89.5	5.3	

5. フルタイム勤務を離れた期間（Q9）

以前フルタイムで働いたことがある者（調査対象住居喪失者の 40.8%）が、フルタイムの仕事を離れたのは「1年～3年以内」が 26.4%で最も多い。これに「3年～5年以内」（16.9%）、「10年以上」（15.5%）、「5年～10年以内」（11.5%）が続く。

Q9 【Q9はQ8で2とお答えの方に伺います】

フルタイムのお仕事を離れたのはどのくらい前のことですか。



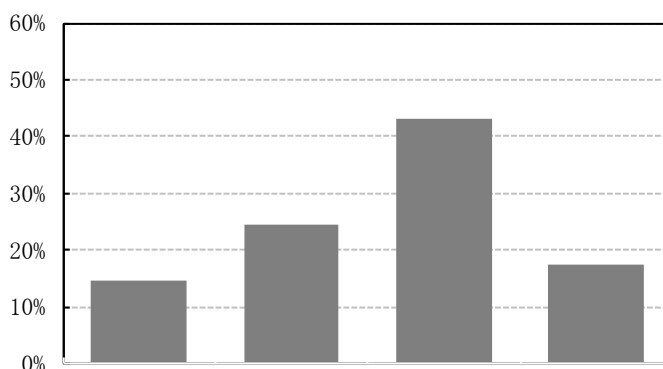
		(n)	1 か 月 以 内	2 1 か 月 6 か 月 以 内	3 6 か 月 1 年 以 内	4 1 年 3 年 以 内	5 3 年 5 年 以 内	6 5 年 1 0 年 以 内	7 1 0 年 以 上	無 回 答
フルタイムで働いたことがある者		(148)	8.1	9.5	10.8	26.4	16.9	11.5	15.5	1.4
性別	男性	(146)	7.5	9.6	11.0	26.7	16.4	11.6	15.8	1.4
	女性	(2)	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
労働形態別	正社員	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	不安定就労者	(123)	8.1	5.7	13.0	26.8	17.9	12.2	15.4	0.8
	派遣労働者	(6)	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7
	契約社員	(1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト	(116)	7.8	4.3	13.8	28.4	17.2	12.1	16.4	0.0
	自営業	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

6. 求職活動状況 (Q10)

調査対象住居喪失者のうち、より安定した仕事への転職をするために、「具体的な求職または転職活動をしている」(1)、「今後する予定」(2)とする者が、約4割みられる。

労働形態別で見ると、派遣労働者では「具体的な求職または転職活動をしている」者が4割近いのに対し、パート・アルバイトではほとんどおらず、「今も求職または転職活動をしていないし、今後もする予定はない」が半数を超える。

Q10 現在、求職または転職活動をされていますか。



		(n)	1 活 具 動 体 を 的 し な て 求 い 職 る ま た は 転 職	2 る を 予 し 定 て い 求 な 職 い ま た が は 、 転 今 職 後 活 す 動	3 す を る し 予 て 定 い は な い し 、 転 今 職 後 活 も 動	無 回 答	(%)
合計		(363)	14.6	24.5	43.3	17.6	
性別	男性	(354)	15.0	24.6	44.4	16.1	
	女性	(9)	0.0	22.2	0.0	77.8	
労働 形態 別	正社員	(16)	6.3	0.0	56.3	37.5	
	不安定就労者	(271)	18.5	19.9	45.8	15.9	
	派遣労働者	(126)	38.9	7.9	39.7	13.5	
	契約社員	(16)	0.0	37.5	31.3	31.3	
	パート・アルバイト	(129)	0.8	29.5	53.5	16.3	
	自営業	(19)	0.0	63.2	31.6	5.3	

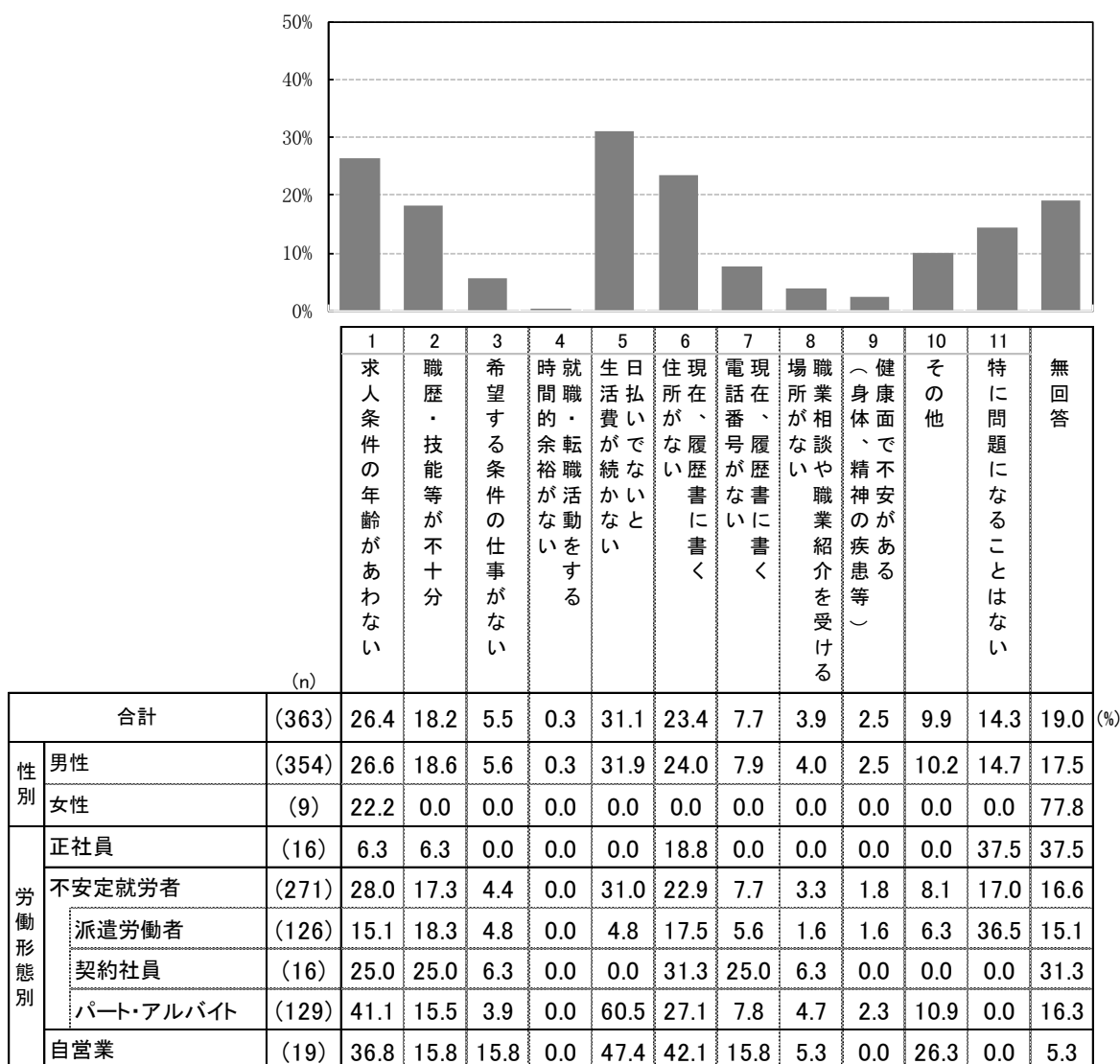
7. 求職活動にあたっての問題（Q11）

調査対象住居喪失者が求職活動をする（又はしようとする）上での問題点として考えていることとしては、「日払いでないと生活費が続かない」という点（31.1%）が最も多くあげられている。これに「求人条件の年齢があわない」（26.4%）、「現在、履歴書に書く住所がない」（23.4%）が続く。

労働形態別でみると、パート・アルバイトでは「日払いでないと生活費が続かない」が6割であり、「求人条件の年齢があわない」が4割を超える。

Q11 求職または転職活動をする上で（またはしようとする上で）、問題になっていることはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

※11『特に問題になることはない』をお選びの場合は他の番号をお選びいただけません。



8. 1ヶ月の収入（Q13）

調査対象住居喪失者の平均（収入なし含むベース）（注3）は、11.4万円である。

一定収入のない失業者・無業者も含む数字であるので、労働形態別にみると、不安定就労者の収入額は12.0万円である。

不安定就労者の中では、派遣労働者の収入額が12.1万円、契約社員の収入額が15.7万円、パート・アルバイトの収入額が11.5万円となっている。

なおこれらの収入額は手取額であるので、税込み額面額では、これらよりも1割程度以上多いものと考えられる。

Q13 収入は1か月にいくらぐらいになりますか（ここ3か月ぐらいの平均）。

（ ）内にあてはまる数を記入してください。

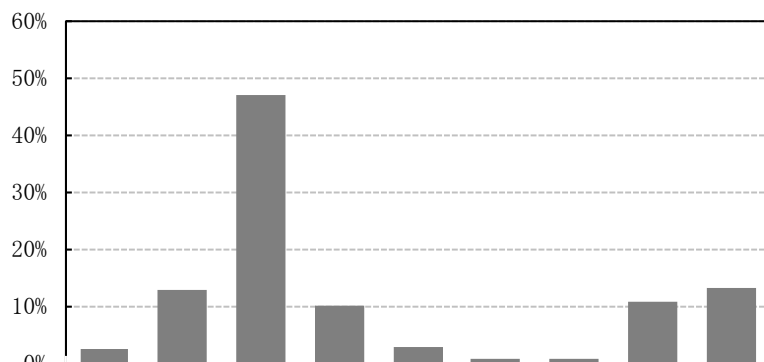
※注；整数（万円単位）でご記入ください。

		(n)	なし平均 含む入 ベース （万円）	あり平均 ベース （万円）
合計		(363)	11.4	13.1
性別	男性	(354)	11.4	13.0
	女性	(9)	15.0	15.0
労働 形態 別	正社員	(16)	19.6	19.6
	不安定就労者	(271)	12.0	12.1
	派遣労働者	(126)	12.1	12.1
	契約社員	(16)	15.7	15.7
	パート・アルバイト	(129)	11.5	11.6
	自営業	(19)	19.7	19.7

（注3）「収入なし含むベース」とは、平均収入0円も含む全ての回答者の平均収入で、「収入ありベース」とは、平均収入0円を除いた平均収入を算出したもの

調査対象住居喪失者の平均（月収なし含むベース）での1ヶ月の収入分布は以下の通りで、11～15万円が一番多い。収入なしが10.7%存在している。

【1ヶ月の収入の分布】



		(n)	1 5 万 円	2 5 0 万 円	3 5 1 5 万 円	4 5 2 0 万 円	5 5 2 5 万 円	6 5 3 0 万 円	7 3 0 万 円 超	8 なし	無 回 答	(%)
合計		(363)	2.5	12.7	46.8	9.9	2.8	0.6	0.8	10.7	13.2	
性別	男性	(354)	2.3	12.7	47.5	10.2	2.5	0.3	0.8	11.0	12.7	
	女性	(9)	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	33.3	
労働形態別	正社員	(16)	0.0	0.0	18.8	43.8	12.5	6.3	6.3	0.0	12.5	
	不安定就労者	(271)	2.2	16.6	61.3	4.4	1.1	0.4	0.4	0.4	13.3	
	派遣労働者	(126)	0.0	17.5	65.1	4.8	1.6	0.0	0.0	0.0	11.1	
	契約社員	(16)	0.0	0.0	68.8	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	18.8	
	パート・アルバイト	(129)	4.7	17.8	56.6	3.9	0.8	0.8	0.0	0.8	14.7	
	自営業	(19)	0.0	0.0	5.3	68.4	21.1	0.0	0.0	0.0	5.3	

第4節 生活の状況

1. 1日あたりの食費 (Q14)

調査対象住居喪失者の1日あたりの(食費なし含むベース) (注4) は、1,107円である。

現在ほとんど定収入のない失業者・無業者も含む数字であるので、労働形態別に見ると、不安定就労者の1日あたりの食費は1,112円である。

不安定就労者の中では、派遣労働者の食費が1,124円、契約社員の食費が1,218円、パート・アルバイトの食費が1,087円となっている。

Q14 外食などを含め、1日あたりの食費はいくらぐらいになりますか(ここ3か月ぐらいの平均)。

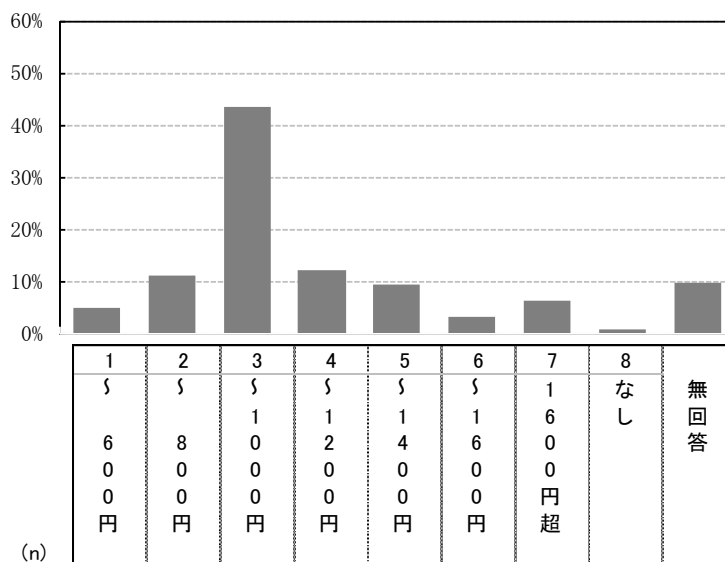
() 内にあてはまる数を記入してください。

		(n)	なし平均 含む食費 ベース (円)	あり平均 べ食費 ス (円)
合計		(363)	1,107	1,113
性別	男性	(354)	1,098	1,105
	女性	(9)	1,583	1,583
労働 形態 別	正社員	(16)	1,125	1,125
	不安定就労者	(271)	1,112	1,112
	派遣労働者	(126)	1,124	1,124
	契約社員	(16)	1,218	1,218
	パート・アルバイト	(129)	1,087	1,087
	自営業	(19)	1,300	1,300

(注4) 食費なし含むベースとは、食費0円も含む全ての回答者の平均の食費で、食費ありベースとは、食費0円を除いた平均の食費を算出したもの

調査対象住居喪失者の平均（食費なし含むベース）での1日あたりの食費の分布は以下の通りで、801～1,000円が一番多い。600円以下も4.7%存在している。

【1日あたりの食費の分布】



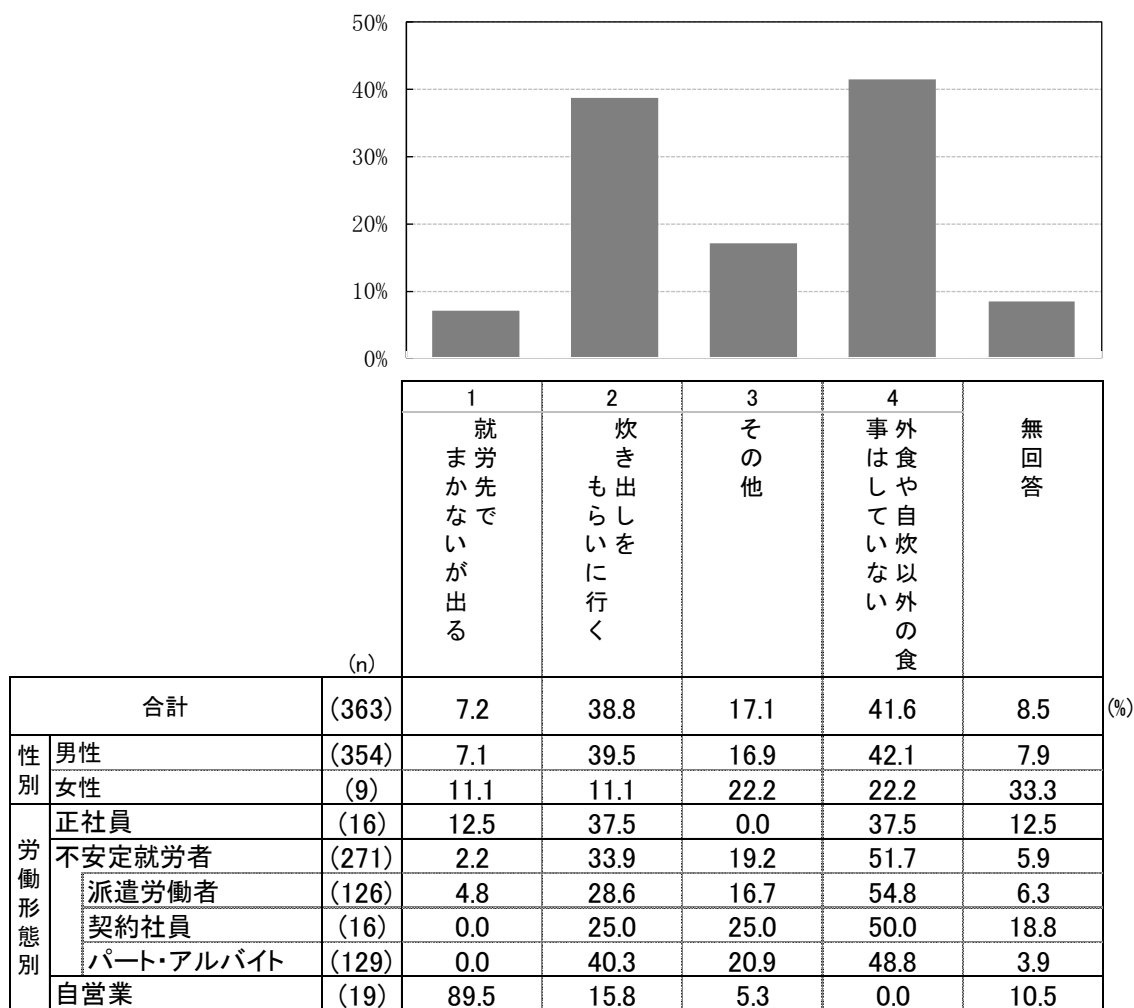
		(n)	1 500 円	2 501 円	3 1,001 円	4 2,001 円	5 3,001 円	6 4,001 円	7 5,001 円 超	8 なし	無 回 答	(%)
合計		(363)	4.7	11.0	43.5	12.1	9.4	3.0	6.1	0.6	9.6	
性別	男性	(354)	4.5	11.3	43.8	12.4	9.6	3.1	5.6	0.6	9.0	
	女性	(9)	11.1	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	33.3	
労働形態別	正社員	(16)	0.0	0.0	56.3	25.0	0.0	0.0	6.3	0.0	12.5	
	不安定就労者	(271)	3.3	5.5	52.0	13.7	8.5	3.3	5.5	0.0	8.1	
	派遣労働者	(126)	2.4	5.6	57.1	11.1	5.6	4.0	6.3	0.0	7.9	
	契約社員	(16)	0.0	0.0	50.0	6.3	18.8	0.0	12.5	0.0	12.5	
	パート・アルバイト	(129)	4.7	6.2	47.3	17.1	10.1	3.1	3.9	0.0	7.8	
	自営業	(19)	0.0	0.0	5.3	15.8	57.9	10.5	0.0	0.0	10.5	

2. 外食や自炊以外の食事有無（Q15）

調査対象住居喪失者のうち、「外食や自炊以外の食事はしていない」者は 41.6%で、「無回答」（8.5%）を除いた半数（49.9%）が外食や自炊以外の食事をしている。

具体的には、「炊き出しをもらいに行く」が 38.8%で最も多く、「就労先でまかないが出る」が 7.2%である。

Q15 外食や自炊以外で食事をされることはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

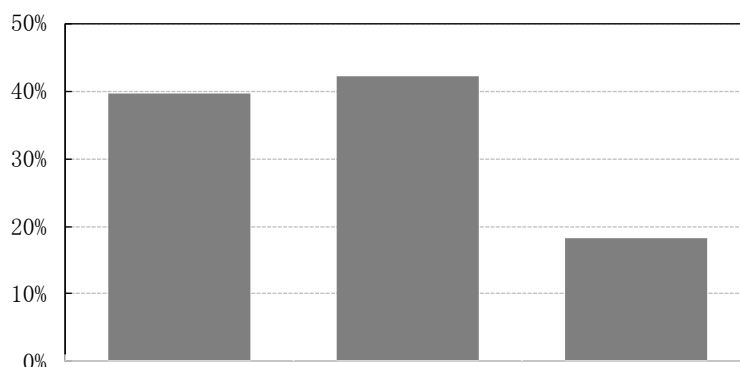


3. 携帯電話・スマートフォン保有状況 (Q16)

調査対象住居喪失者のうち、現在、携帯電話やスマートフォンを持っている者は39.7%である。

労働形態別で見ると、派遣労働者の85.7%が携帯電話やスマートフォンを持っているのに対し、パート・アルバイトでは5.4%にとどまり、その差が大きい。

Q16 現在、携帯電話やスマートフォンはお持ちですか。



		(n)	1 ある	2 ない	無 回 答	(%)
合計		(363)	39.7	42.1	18.2	
性別	男性	(354)	40.1	43.2	16.7	
	女性	(9)	22.2	0.0	77.8	
労働 形態 別	正社員	(16)	62.5	0.0	37.5	
	不安定就労者	(271)	42.8	41.3	15.9	
	派遣労働者	(126)	85.7	0.8	13.5	
	契約社員	(16)	6.3	62.5	31.3	
	パート・アルバイト	(129)	5.4	78.3	16.3	
	自営業	(19)	94.7	0.0	5.3	

4. 借金の状況 (Q17)

調査対象住居喪失者の平均負債額をみると、「消費者金融」が24.4万円、「奨学金」が6.7万円、「知人・友人から」が1.1万円、「その他の借金」が15.0万円である。

労働形態別でみると、派遣労働者は「消費者金融」からの借金が多く(35.1万円)、全体平均を10万円以上上回っている。一方、パート・アルバイトは「奨学金」の借金が多く(14.7万円)、全体平均を8万円上回る。

Q17 現在借金はおありですか。ある場合は、それぞれどのくらいになりますか。

※注；整数（万円単位）でご記入ください。

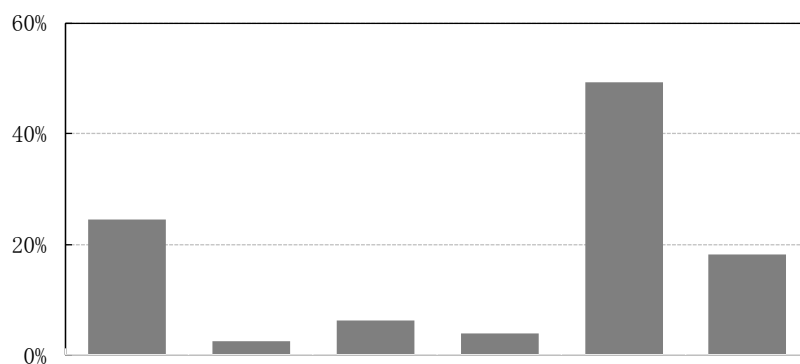
		平均負債(万円)全体ベース				平均負債(万円)ありベース				
		(n)	1 消 費 者 金 融	2 奨 学 金	3 知 人 ・ 友 人 か ら	4 そ の 他 の 借 金	1 消 費 者 金 融	2 奨 学 金	3 知 人 ・ 友 人 か ら	4 そ の 他 の 借 金
合計		(363)	24.4	6.7	1.1	15.0	99.6	272.2	17.1	389.6
性別	男性	(354)	23.6	5.8	1.1	15.4	97.2	256.3	17.1	389.6
	女性	(9)	55.6	44.4	0.0	0.0	166.7	400.0	0.0	0.0
労働 形態 別	正社員	(16)	9.4	21.9	5.3	0.0	150.0	175.0	28.3	0.0
	不安定就労者	(271)	28.7	7.7	1.0	3.5	99.9	300.0	15.5	237.5
	派遣労働者	(126)	35.1	1.6	1.0	0.0	138.3	200.0	14.3	0.0
	契約社員	(16)	11.9	0.0	0.9	6.3	63.3	0.0	15.0	100.0
	パート・アルバイト	(129)	24.6	14.7	0.9	6.6	73.8	316.7	17.1	283.3
	自営業	(19)	0.0	0.0	0.0	236.8	0.0	0.0	0.0	500.0

借金全体についてみると、「借金はしていない」(49.3%)と「無回答」(18.2%)を除くと、全体の32.5%が借金をしていることになる。

借入先は「消費者金融」が最も多く(24.5%)、「知人・友人から」(6.3%)が続く。

労働形態別でみると、パート・アルバイトの1/3が「消費者金融」から借金をしている。

【借金全体】



		(n)	1 消費者金融	2 奨学金	3 知人・友人から	4 その他の借金	5 借金はしていない	無回答	(%)
合計		(363)	24.5	2.5	6.3	3.9	49.3	18.2	
性別	男性	(354)	24.3	2.3	6.5	4.0	49.7	17.8	
	女性	(9)	33.3	11.1	0.0	0.0	33.3	33.3	
労働形態別	正社員	(16)	6.3	12.5	18.8	0.0	43.8	18.8	
	不安定就労者	(271)	28.8	2.6	6.3	1.5	49.1	18.1	
	派遣労働者	(126)	25.4	0.8	7.1	0.0	51.6	19.8	
	契約社員	(16)	18.8	0.0	6.3	6.3	43.8	31.3	
	パート・アルバイト	(129)	33.3	4.7	5.4	2.3	47.3	14.7	
	自営業	(19)	0.0	0.0	0.0	47.4	31.6	21.1	

第5節 福祉や保険の状況

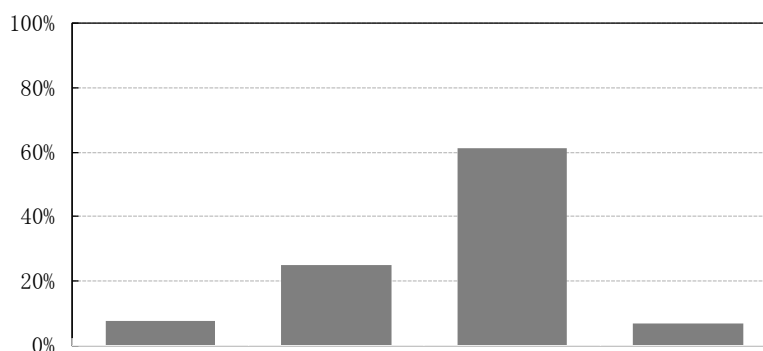
1. 雇用保険・社会保険の加入状況（Q18）

（1）雇用保険

調査対象住居喪失者のうち、雇用保険に「加入している」者は7.4%にとどまり、「加入していない」者が61.2%を占める。

Q18 雇用保険や社会保険に加入されていますか。

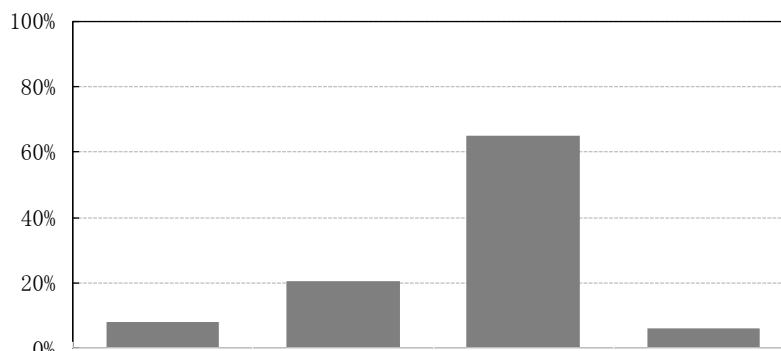
※注；現在、保険料を支払っている場合を「加入」としてお答えください。



		(n)	1 加入 して いる	2 よ く わ か ら な い	3 加 入 し て い な い	無 回 答	(%)
合計		(363)	7.4	24.8	61.2	6.6	
性別	男性	(354)	6.8	25.4	61.9	5.9	
	女性	(9)	33.3	0.0	33.3	33.3	
労働形態別	正社員	(16)	87.5	0.0	0.0	12.5	
	不安定就労者	(271)	4.1	24.4	66.8	4.8	
	派遣労働者	(126)	3.2	18.3	72.2	6.3	
	契約社員	(16)	18.8	43.8	25.0	12.5	
	パート・アルバイト	(129)	3.1	27.9	66.7	2.3	
	自営業	(19)	0.0	31.6	63.2	5.3	

(2) 医療保険（健康保険）

調査対象住居喪失者のうち、医療保険（健康保険）に「加入している（保険証をもって
いる）」者は8.3%にとどまり、「加入していない」者が65.0%を占める。

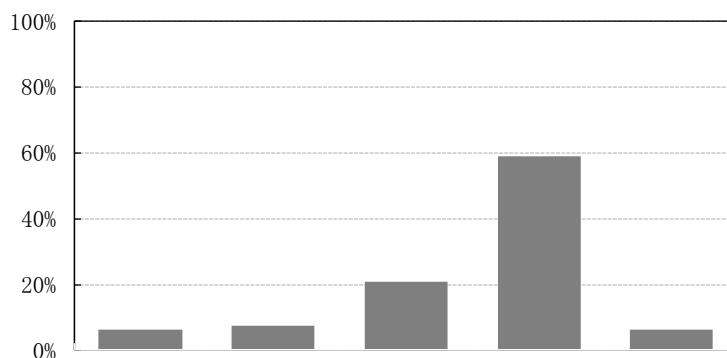


		(n)	1 （加入も 保険証を いいる）	2 よくわ からない	3 加入し ていな い	無回 答	(%)
合計		(363)	8.3	20.7	65.0	6.1	
性別	男性	(354)	7.6	21.2	65.8	5.4	
	女性	(9)	33.3	0.0	33.3	33.3	
労働形態別	正社員	(16)	87.5	0.0	0.0	12.5	
	不安定就労者	(271)	4.4	22.1	69.0	4.4	
	派遣労働者	(126)	4.0	23.8	66.7	5.6	
	契約社員	(16)	12.5	43.8	31.3	12.5	
	パート・アルバイト	(129)	3.9	17.8	76.0	2.3	
	自営業	(19)	0.0	10.5	84.2	5.3	

(3) 年金

調査対象住居喪失者のうち、「厚生年金に加入している」(1)者は6.3%、「国民年金に加入している」(2)者は7.4%である。

なお、「加入していない」者が59.0%を占める。



		(n)	1 厚生 加入 年金 して に い る	2 国 民 加 入 年 金 に い る	3 よ く わ か ら な い	4 加 入 し て い な い	無 回 答	(%)
合計		(363)	6.3	7.4	20.9	59.0	6.3	
性別	男性	(354)	6.2	7.3	21.2	59.6	5.6	
	女性	(9)	11.1	11.1	11.1	33.3	33.3	
労働形態別	正社員	(16)	37.5	18.8	31.3	0.0	12.5	
	不安定就労者	(271)	5.9	7.7	24.0	57.6	4.8	
	派遣労働者	(126)	9.5	15.1	47.6	21.4	6.3	
	契約社員	(16)	6.3	6.3	6.3	68.8	12.5	
	パート・アルバイト	(129)	2.3	0.8	3.1	91.5	2.3	
	自営業	(19)	0.0	0.0	0.0	94.7	5.3	

2. 相談できる場所（Q19）

（1）知っているところ

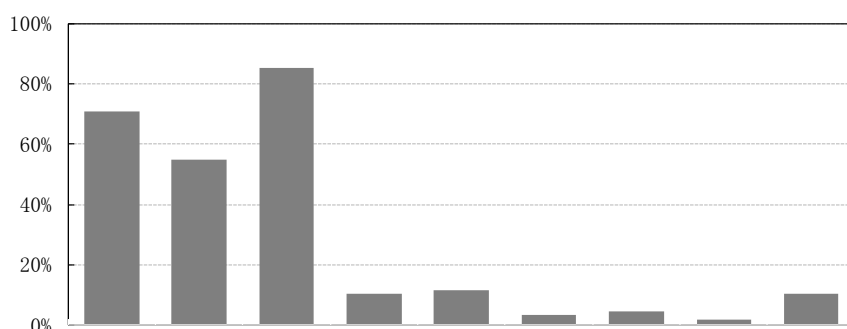
生活や健康、就業について相談できる場所の中では、「ハローワーク」（85.4%）が最も認知されている。これに「区市町村の生活・就職相談窓口」（71.1%）、「福祉事務所」（55.1%）が続く。

労働形態別でみると、派遣労働者で「ハローワーク」の認知率が9割を超える。

Q19 生活や健康、就業などについて、相談ができるところには以下のようなものがあります。

（1） 知っているところをすべてお選びください。

※8『(1)相談できるところをまったく知らない』をお選びの場合は、他の番号をお選びいただけません。



		(n)	1 職 相 談 窓 口	2 福 祉 事 務 所	3 ハ ロ ー ワ ー ク	4 東 京 し ご と セ ン タ ー	5 チ ヤ レ ン ジ ネ ッ ト	6 自 立 支 援 セ ン タ ー	7 そ の 他	8 と 相 談 で き る と こ ろ を 知 ら な い	無 回 答	(%)
合計		(363)	71.1	55.1	85.4	10.5	11.6	3.6	4.7	1.9	10.5	
性別	男性	(354)	72.3	55.9	86.4	10.7	11.6	3.7	4.5	2.0	9.6	
	女性	(9)	22.2	22.2	44.4	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	44.4	
労働形態別	正社員	(16)	62.5	50.0	68.8	0.0	6.3	0.0	56.3	0.0	31.3	
	不安定就労者	(271)	73.8	56.8	88.9	11.4	12.9	4.1	2.6	1.5	8.1	
	派遣労働者	(126)	76.2	54.0	92.1	12.7	14.3	6.3	0.0	0.8	7.1	
	契約社員	(16)	68.8	50.0	68.8	0.0	6.3	0.0	37.5	6.3	25.0	
	パート・アルバイト	(129)	72.1	60.5	88.4	11.6	12.4	2.3	0.8	1.6	7.0	
	自営業	(19)	68.4	52.6	78.9	10.5	5.3	0.0	0.0	10.5	5.3	

(2) 相談したことがあるところ

相談したことがある場所としても、「ハローワーク」(39.1%)が最も高く、これに「区市町村の生活・就職相談窓口」(22.9%)、「福祉事務所」(14.9%)が続く。

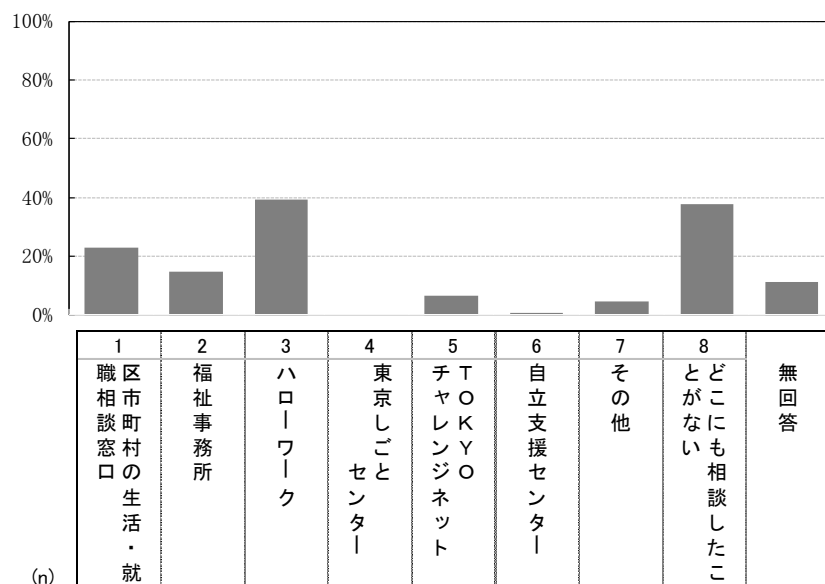
一方、「どこにも相談したことがない」者が37.7%おり、相談できる場所があることを知ってはいても、実際相談するに至っていない人が多数いるようである。

労働形態別でみると、パート・アルバイトでは「どこにも相談したことがない」者が半数を占める。

Q19 生活や健康、就業などについて、相談ができるところには以下のようなものがあります。

(2) そのうち、相談したことがあるところをすべてお選びください。

※8『(2)どこにも相談したことはない』をお選びの場合は、他の番号をお選びいただけません。



		(n)	1	2	3	4	5	6	7	8	(%)
合計		(363)	22.9	14.9	39.1	0.0	6.6	0.6	4.7	37.7	11.3
性別	男性	(354)	23.4	15.3	39.5	0.0	6.5	0.6	4.5	38.4	10.5
	女性	(9)	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	44.4
労働形態別	正社員	(16)	43.8	25.0	6.3	0.0	6.3	0.0	56.3	6.3	25.0
	不安定就労者	(271)	22.1	15.5	40.6	0.0	6.6	0.4	2.6	42.1	8.9
	派遣労働者	(126)	29.4	14.3	49.2	0.0	6.3	0.8	0.0	38.1	7.9
	契約社員	(16)	25.0	31.3	43.8	0.0	6.3	0.0	37.5	6.3	25.0
	パート・アルバイト	(129)	14.7	14.7	31.8	0.0	7.0	0.0	0.8	50.4	7.8
	自営業	(19)	42.1	21.1	57.9	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3	5.3

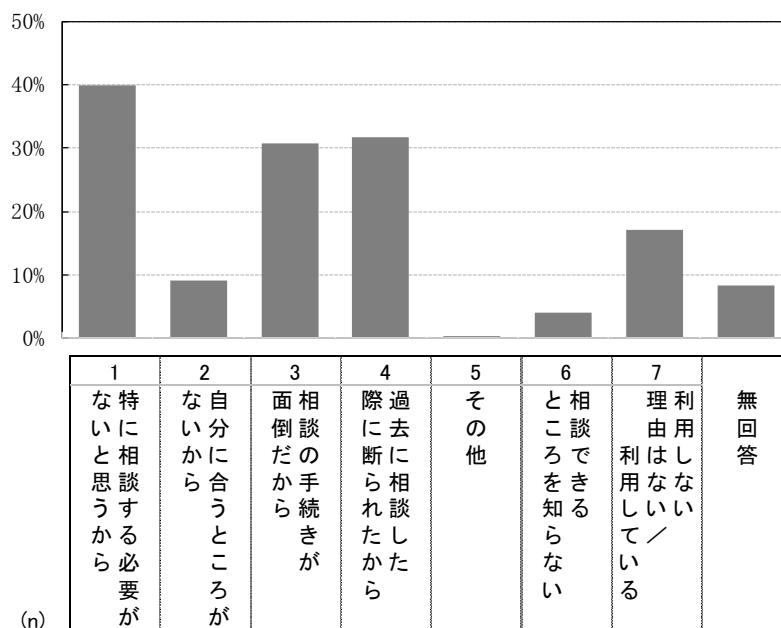
3. 相談できる場所を利用しない理由（Q20）

生活や健康、就業などについて、相談できる場所を利用しない理由としては、「特に相談する必要がないと思うから」（39.9%）が最も多く、必要性を感じないことが最大の阻害要因となっている。一方、「過去に相談した際に断られた」（31.7%）、「相談の手続きが面倒だから」（30.9%）という者が約3割みられる。

労働形態別でみると、パート・アルバイトで「特に相談する必要がないと思うから」「相談の手続きが面倒だから」が高い。

Q20 生活や健康、就業などについて、相談できる場所を利用しない理由はありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

※7『利用しない理由はない／利用している』をお選びの場合は、他の番号をお選びいただけません。



		(n)	1	2	3	4	5	6	7	無回答	(%)
合計		(363)	39.9	9.1	30.9	31.7	0.3	4.1	17.1	8.3	
性別	男性	(354)	40.4	9.3	31.6	31.9	0.0	4.2	17.5	7.3	
	女性	(9)	22.2	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	44.4	
労働形態別	正社員	(16)	43.8	6.3	18.8	50.0	0.0	0.0	12.5	12.5	
	不安定就労者	(271)	43.9	8.5	29.9	26.6	0.4	2.6	21.4	5.9	
	派遣労働者	(126)	37.3	11.1	19.0	11.9	0.8	2.4	38.9	7.1	
	契約社員	(16)	37.5	0.0	25.0	43.8	0.0	12.5	0.0	12.5	
	パート・アルバイト	(129)	51.2	7.0	41.1	38.8	0.0	1.6	7.0	3.9	
	自営業	(19)	26.3	26.3	63.2	57.9	0.0	10.5	5.3	5.3	

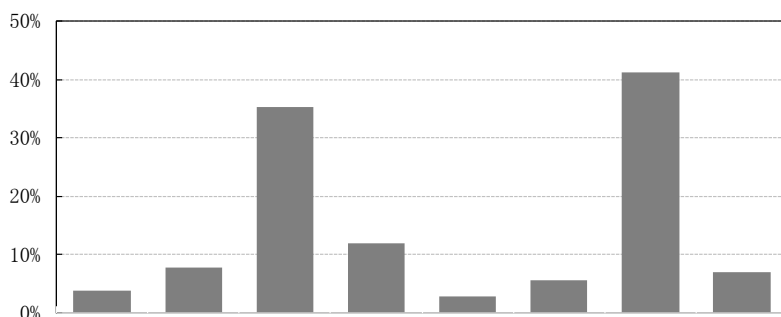
4. 悩み事等を相談できる人（Q21）

困ったことや悩み事を「相談できる人はいない」とする者の割合は、41.3%である。

労働形態別で見ると、パート・アルバイトでは「相談できる人はいない」が半数を超える。

Q21 困ったことや悩み事を相談できる人はいますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。

※7『相談できる人はいない』をお選びの場合は、他の番号をお選びいただけません。



		(n)	1 親	2 兄弟・親せき	3 友人	4 知人・知り合い	5 職場の同僚	6 その他	7 相談できる人はいない	無回答	(%)
合計		(363)	3.9	7.7	35.3	11.8	2.8	5.5	41.3	6.9	
性別	男性	(354)	4.0	7.9	36.2	12.1	2.8	5.6	40.7	6.2	
	女性	(9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	
労働形態別	正社員	(16)	0.0	18.8	18.8	31.3	43.8	6.3	12.5	12.5	
	不安定就労者	(271)	5.2	5.2	38.7	10.3	0.7	5.5	42.8	5.5	
	派遣労働者	(126)	3.2	9.5	45.2	14.3	0.8	4.0	32.5	6.3	
	契約社員	(16)	0.0	0.0	56.3	0.0	0.0	6.3	31.3	12.5	
	パート・アルバイト	(129)	7.8	1.6	30.2	7.8	0.8	7.0	54.3	3.9	
	自営業	(19)	0.0	36.8	5.3	10.5	0.0	5.3	52.6	5.3	

5. 今、一番困っていること（Q22）

今、一番困っていることを自由に回答してもらったところ、“仕事”に関する回答が非常に多く挙げられた。

最も多かったのは「職に関してどのように相談すればよいのか分からない」という回答で、主に50代のパート・アルバイトが挙げている。

また、「給与が上がらない」という回答は30代の派遣社員、「他の仕事をしたい」という回答は20代のパート・アルバイトから多く挙げられている。

仕事以外の困り事では、「借金をどのように返済すればよいのか分からない」という回答が多く、30代の派遣社員、20代のパート・アルバイトなど若年層が多く挙げている。

その他にも、「相談できる人がいない」「住むところがない」など、様々な面で困っている様子が見えてくる。

【調査票】

**終夜営業店舗における住居喪失不安定就労者・離職者等の実態調査
(店舗アンケート)**

問1) 平日1日あたりの平均的なオールナイト利用者数をお知らせください。

※『オールナイト利用者』は深夜から朝まで通じて利用(最低5時間以上、またはパック料金での利用)をされる方を指します。

人

問2) そのうち、常連者(週の半分以上利用される利用者)の数をお知らせください。

人

問3) 常連者のうち、女性の人数をお知らせください。

人

問4) 常連者の利用が増える季節などがあればすべてお知らせください。

※5『特に季節的な変化はない』をお選びの場合は他の番号をお選びいただけません。

1 春	2 夏	3 秋	4 冬	5 特に季節的な変化はない
-----	-----	-----	-----	---------------

問5) 最後に店舗名と所在地をお知らせください。

ご協力店舗名; _____

■23区(※50音順)				
1 足立区	2 荒川区	3 板橋区	4 江戸川区	5 大田区
6 葛飾区	7 北区	8 江東区	9 品川区	10 渋谷区
11 新宿区	12 杉並区	13 墨田区	14 世田谷区	15 台東区
■市部(※50音順)				
24 昭島市	25 あきる野市	26 稲城市	27 青梅市	28 清瀬市
29 国立市	30 小金井市	31 国分寺市	32 小平市	33 狛江市
34 立川市	35 多摩市	36 調布市	37 西東京市	38 八王子市
39 羽村市	40 東久留米市	41 東村山市	42 東大和市	43 日野市
44 府中市	45 福生市	46 町田市	47 三鷹市	48 武蔵野市
49 武蔵村山市				
■郡部				
50 上記以外の町・村				

～ ご協力ありがとうございました ～

*調査員記入事項 担当調査員; _____

インターネットカフェ等のオールナイト利用者アンケート

東京都では平成20年度から、インターネットカフェや漫画喫茶等で寝泊りしながら不安定な就労に従事する方や離職中の方に対して、生活支援、居住支援、資金貸付及び就労支援を実施することにより、自立した安定的な生活の促進を図ることを目的に住居喪失不安定就労者・離職者等サポート事業を行っております。

このたび、東京都における住居喪失不安定就労者・離職者等の実態把握を目的とし、本調査を行うこととなりましたので、御協力いただきますようお願いいたします。

なお、本調査に関するご質問がありましたら、調査実施機関である「株式会社 日本リサーチセンター」(下記連絡先)へご連絡ください。

また、インターネットカフェや漫画喫茶等で寝泊りしながら不安定な就労に従事する方や離職中の方で
ご相談を希望される方は、サポート事業の相談窓口である「TOKYO チャレンジネット」
(TEL:0120-874-225※フリーダイヤル)までご相談くださるようお願いいたします。

東京都福祉保健局生活福祉部生活支援課

- アンケートへの回答結果は「〇〇という回答がx x%」というように、全て統計的に処理され、個人が特定されることや情報が流出することは一切ございませんので、ありのままを記入してください。
- アンケートにご回答いただく方は、おひとりにつき1部を記入してください。
- 回答方法は、特に指定のない限り、該当する項目の数字を○で囲んでください。
- ご回答内容によってお答えいただきたい質問が異なります。
途中【～～の方に伺います】という案内がありますので、よくご確認のうえ、ご協力ください。

調査実施機関：

株式会社 日本リサーチセンター

インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルームなどの利用頻度や主な利用理由などについて伺います

【問A～Eはすべての方に伺います】

問A 性別をお選びください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|-------------|-------------|

問B 年齢をお選びください。

- | | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1 19歳以下 | 2 20～24歳 | 3 25～29歳 | 4 30～34歳 | 5 35～39歳 |
| 6 40～44歳 | 7 45～49歳 | 8 50～54歳 | 9 55～59歳 | 10 60歳以上 |

問C インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルームなどをオールナイトで利用する頻度はどのくらいですか。

- | |
|-------------------|
| 1 週に5日以上 |
| 2 週に3～4日程度 |
| 3 週に1～2日程度 |
| 4 月に1～2日程度 |
| 5 月に1日未満 |
| 6 今回が初めて |

問D インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルームなどをオールナイトで利用する主な理由として、

次の中から最も近いものを一つお選びください。

※注：このアンケートでいう「住居」とは、ふだん帰る自宅やアパート、会社の寮・住み込み先などをいい、

遠い実家は含みません。

- | |
|--|
| 1 パソコン・ゲーム・マンガ等をオールナイトで利用するため（2～8の理由ではない） |
| 2 遊び等で夜遅くなり「住居」に帰れない（帰るのがおっくう）ため |
| 3 仕事等で夜遅くなり（または朝が早く）「住居」に帰れない（帰るのがおっくう）ため |
| 4 現在旅行（または出張）中であり、宿がわりに利用 |
| 5 「住居」に帰りたくない事情があるため（ちかぢか帰る予定） |
| 6 「住居」に帰りたくない事情があるため（当分の間帰らない）
↓よろしければ、その具体的理由を教えてください |
| （

） |
| 7 現在「住居」を失うおそれがあり、寝泊まりするために利用 |
| 8 現在「住居」がなく、寝泊まりするために利用 |

問E インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルームなどのほかに、寝泊りするためにどのような場所を利用していますか。

(1) よく (週2回以上) 利用するものをすべてお選びください。

(2) たまに (週1回以下) 利用するものをすべてお選びください。

※ (1) (2) とともに、12『インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルーム以外にはない』をお選びの場合は他の番号をお選びいただけません。

	(1) よく利用	(2) たまに利用
1) ビジネスホテル・旅館	1	1
2) カプセルホテル	2	2
3) 簡易宿泊所 (ドヤ)	3	3
4) サウナ	4	4
5) カラオケ店	5	5
6) ファーストフード店	6	6
7) その他の飲食店	7	7
8) 路上 (公園・河川敷・道路・駅舎等の施設)	8	8
9) 友人の家などに泊めてもらう	9	9
10) 夜は起きていて昼に図書館などで寝る	10	10
11) その他 ()	11	11
12) インターネットカフェ・マンガ喫茶・ネットルーム以外にはない	12	12

【問Fは問E (1) または (2) で8とお答えの方に伺います】

問F 路上 (公園・河川敷・道路・駅舎等の施設) を利用されるのは、どのくらいですか。

1	週に5日以上
2	週に3~4日程度
3	週に1~2日程度
4	月に1~2日程度
5	月に1日未満

【問Gはすべての方に伺います】

問G ふだん、お仕事をしていますか。次の中から一つお選びください。

- 1 生計をたてるための仕事をしている
- 2 家族の収入を補助するための仕事をしている
- 3 ふだん仕事をしていない（仕事を探している）
- 4 ふだん仕事をしていない（仕事を探していない）
- 5 学生（学生アルバイトを含む）

【問Hは問Gで1, 2とお答えの方に伺います】

問H 現在のお仕事の形態は次のどちらにあてはまりますか。次の中から一つお選びください。

- 1 正社員
- 2 派遣労働者
- 3 契約社員
- 4 パート・アルバイト
- 5 自営業

【2 ページ問Dで1~5とお答えの方】

●今回のアンケートは終わりです。

アンケートはお店の方にお預けいただくか、お渡しした封筒に入れてお送りください。

ご協力ありがとうございました。

【2 ページ問Dで6~8とお答えの方】

●次ページQ1へお進みください。

住居などについて伺います

【Q1はすべての方に伺います】

Q1 「住居」がなくなってから（または「住居」に帰らなくなってから）の期間はどのくらいですか。

- | | | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|----------|-----------|
| 1 | 1か月未満 | 2 | 1か月～3か月未満 | 3 | 3か月～6か月未満 |
| 4 | 6か月～1年未満 | 5 | 1年～3年未満 | 6 | 3年～5年未満 |
| 7 | 5年～10年未満 | 8 | 10年以上 | | |

【Q2～3は2ページ問Dで7、8とお答えの方に伺います】

Q2 「住居」がなくなった（失うおそれがある）のは、主にどのような理由によりますか。

次の中から一つだけお選びください。

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 1 | 仕事を辞めて家賃等を払えなくなった（なりそう）ため |
| 2 | 仕事を辞めて寮や住み込み先を出た（出ることになりそう）ため |
| 3 | 仕事は続けているが、生活費がかさんで家賃等を払えなくなった（なりそう）ため |
| 4 | 借金などのトラブルがあった（ある）ため |
| 5 | 家族との関係が悪く、「住居」を出た（出ることになりそう）ため |
| 6 | 家族との関係が悪いわけではないが、「住居」を出たかった（出たい）ため |
| 7 | 友人等と同居していたが、居づらくなりその家・部屋を出た（出たい）ため |
| 8 | その他（ <input type="text"/> ） |

Q3 東京都内で生活されるようになってからの期間はどのくらいですか。

- | | | | | | |
|----------|----------------|----------|-----------|----------|-----------|
| 1 | 1か月未満 | 2 | 1か月～3か月未満 | 3 | 3か月～6か月未満 |
| 4 | 6か月～1年未満 | 5 | 1年～3年未満 | 6 | 3年～5年未満 |
| 7 | 5年～10年未満 | 8 | 10年以上 | | |
| 9 | 普段は東京以外で生活している | | | | |

【Q4はQ3で1～8とお答えの方に伺います】

Q4 東京都内で生活される前は、どちらで生活をされていましたか。

直前に生活されていたところを一つだけお選びください。

- | | |
|----------|------------------|
| 1 | 東京都内でしか生活したことがない |
| 2 | 埼玉県・千葉県・神奈川県 |
| 3 | 茨城県・栃木県・群馬県 |
| 4 | それ以外の道府県 |
| 5 | 海外 |

お仕事などについて伺います

【Q7は4ページ問Gで1, 2とお答えの方に伺います】

Q7 現在のお仕事の職種は次のどちらにあてはまりますか。次の中から主なものを一つお選びください。

- 1 事務・IT関係
- 2 製造関係
- 3 運転・運搬・倉庫関係
- 4 警備関係
- 5 建設関係
- 6 清掃関係
- 7 医療・介護関係
- 8 営業関係
- 9 販売関係
- 10 飲食店関係
- 11 その他の接客・サービス関係
- 12 その他 ()

【Q8はすべての方に伺います】

Q8 これまでに、フルタイム（1日8時間・週5日程度）で勤務した経験はありますか。

- 1 現在フルタイムで働いている
- 2 以前フルタイムで働いたことがある
- 3 今まで一度もフルタイムで働いたことがない

【Q9はQ8で2とお答えの方に伺います】

Q9 フルタイムのお仕事を離れたのはどのくらい前のことですか。

- | | | | | | | | |
|---|---------|---|----------|---|----------|---|---------|
| 1 | 1か月以内 | 2 | 1か月～6か月 | 3 | 6か月～1年以内 | 4 | 1年～3年以内 |
| 5 | 3年～5年以内 | | | | | | |
| | | 6 | 5年～10年以内 | 7 | 10年以上 | | |

【Q10～22はすべての方に伺います】

Q10 現在、求職または転職活動をされていますか。

- 1 具体的な求職または転職活動をしている
- 2 今は求職または転職活動をしていないが、今後する予定
- 3 今も求職または転職活動をしていないし、今後する予定はない

Q11 求職または転職活動をする上で（またはしようとする上で）、問題になっていることはありますか。

あてはまるものをすべてお選びください。

※11『特に問題となることはない』をお選びの場合は他の番号をお選びいただけません。

- 1 求人条件の年齢があわない
- 2 職歴・技能等が不十分
- 3 希望する条件の仕事がない
- 4 就職・転職活動をする時間的余裕がない
- 5 日払いでないと生活費が続かない
- 6 現在、履歴書に書く住所がない
- 7 現在、履歴書に書く電話番号がない
- 8 職業相談や職業紹介を受ける場所がない
- 9 健康面で不安がある（身体、精神の疾患等）
- 10 その他（ ）
- 11 特に問題になることはない

日々の生活などについて伺います

Q 1 2 最後に卒業（または中退）した学校は次のどちらですか。

- 1 中学卒業
- 2 高校中退
- 3 高校卒業
- 4 短大・高専・専門学校中退
- 5 短大・高専・専門学校卒業
- 6 大学中退
- 7 大学卒業・大学院中退・大学院卒業

Q 1 3 収入は1か月にいくらぐらいになりますか(ここ3か月ぐらいの平均)。

() 内にあてはまる数を記入してください。

※注; 整数(万円単位)でご記入ください。

約 () 万円

Q 1 4 外食などを含め、1日あたりの食費はいくらぐらいになりますか(ここ3か月ぐらいの平均)。

() 内にあてはまる数を記入してください。

約 () 円

Q 1 5 外食や自炊以外で食事をされることはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 1 就労先でまかないが出る
- 2 炊き出しをもらいに行く
- 3 その他 ()
- 4 外食や自炊以外の食事はしていない

Q 1 6 現在、携帯電話やスマートフォンはお持ちですか。

- 1 ある
- 2 ない

Q 1 7 現在借金はおありですか。ある場合は、それぞれどのくらいになりますか。

※注; 整数(万円単位)でご記入ください。

- 1 消費者金融 約 () 万円
- 2 奨学金 約 () 万円
- 3 知人・友人から 約 () 万円
- 4 その他の借金 約 () 万円
- 5 借金はしていない

福祉や保険などについて伺います

Q 1 8 雇用保険や社会保険に加入されていますか。

※注；現在、保険料を支払っている場合を「加入」としてお答えください。

(1) 雇用保険

1 加入している **2** よくわからない **3** 加入していない

(2) 医療保険（健康保険）

1 加入している（保険証を持っている） **2** よくわからない **3** 加入していない

(3) 年金

1 厚生年金に加入している **2** 国民年金に加入している
3 よくわからない **4** 加入していない

Q 1 9 生活や健康、就業などについて、相談ができるところには以下のようなものがあります。

(1) 知っているところをすべてお選びください。

(2) そのうち、相談したことがあるところをすべてお選びください。

※8『(1) 相談できるところをまったく知らない／(2) どこにも相談したことはない』をお選びの場合は、他の番号をお選びいただけません。

	(1) 知っている ところ	(2) 知っていて相談 したことがある ところ
1) 区市町村の生活・就職相談窓口	1	1
2) 福祉事務所	2	2
3) ハローワーク	3	3
4) 東京しごとセンター	4	4
5) TOKYOチャレンジネット	5	5
6) 自立支援センター	6	6
7) その他 ()	7	7
8) - (1) 相談できるところを知らない	8	/
8) - (2) どこにも相談したことがない	/	8

Q 2 0 生活や健康、就業などについて、相談できるところを利用しない理由はありますか。

あてはまるものをすべてお選びください。

※7『利用しない理由はない／利用している』をお選びの場合は、他の番号をお選びいただけません。

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 特に相談する必要がないと思うから |
| 2 | 自分に合うところがないから |
| 3 | 相談の手続きが面倒だから |
| 4 | 過去に相談した際に断られたから |
| 5 | その他 () |
| 6 | 相談できるところを知らない |
| 7 | 利用しない理由はない／利用している |

Q 2 1 困ったことや悩み事を相談できる人はいますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。

※7『相談できる人はいない』をお選びの場合は、他の番号をお選びいただけません。

- | | |
|---|------------|
| 1 | 親 |
| 2 | 兄弟・親せき |
| 3 | 友人 |
| 4 | 知人・知り合い |
| 5 | 職場の同僚 |
| 6 | その他 () |
| 7 | 相談できる人はいない |

Q 2 2 最後に、今一番お困りのことがあればご自由にご記入ください。

--

【すべての方】

●今回のアンケートは終わりです。

アンケートはお店の方にお預けいただくか、お渡しした封筒に入れてお送りください。ご協力ありがとうございました。

